

明治

~~昭和~~ 28年(接)分
-30

種類	文書
冊名	土地購入登記関係書類
起終	明治28年/1~30年/12
保存 (保管)年限	永久 年
課名	文書課
保存番号	/

文書課

明治 28
永久 30
保存 年分

土地購入登記関係書類

保存番

1

明治二十八年八月以降

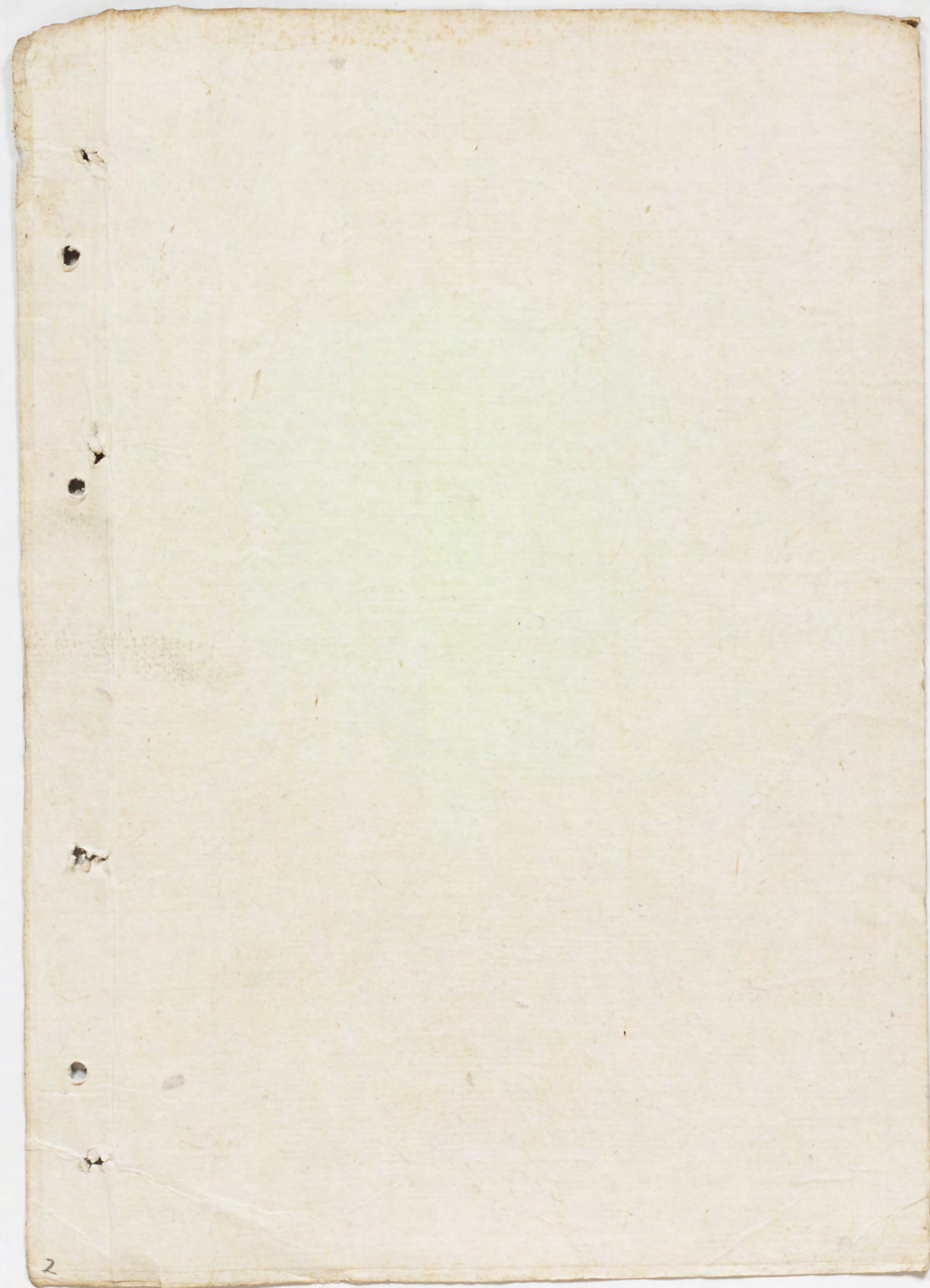
永久保存

船屋町
出張所
買入
登記謄本
及一付書類
綴

考査用合綴


京都出張所



保存年數	永久保存
使用年月	明治二十八年以降
保存記號	甲號
保存番號	共ノ第八號



明治六年八月十日
文書第四三號

明治二十八年八月九日

所長 

 保原 敬二 書 

文書局長、以照會東向

拝啓、此、陳、記、中、立、字、當、出、法、所、之、用、地、所、
建、物、買、入、方、之、義、昨、九、日、公、心、証、書、作、成、上、申、
京、都、區、裁、判、所、記、簿、之、登、録、無、帶、授、受、結、了、
後、即、自、別、紙、公、山、書、院、登、記、書、院、或、通、該、之、進、進、
仕、者、自、之、結、計、取、計、以、成、下、所、在、地、所、及、及、各、等、
代、金、五、千、五、百、圓、之、内、法、書、之、面、下、所、有、物、勘、定、
可、以、之、仕、拂、日、票、之、雜、換、上、之、仕、拂、者、借、取、金、金、差、
目、以、之、之、雜、換、之、更、入、以、集、仕、官、在、採、以、之、官、

日本銀行

此、以、交、與、得、賣、之、也、
三、年、月、日、
所、長

文書局長宛

追、右、本、月、七、日、自、文、才、二、九、方、字、ヲ、以、テ、更、ニ、増、敷、
記、入、シ、以、委、任、状、之、通、保、有、以、通、牒、了、致、了、
仕、外、右、以、委、任、状、之、日、票、之、以、送、有、一、紙、通、之、完、結、
致、之、前、紙、以、委、任、状、之、日、票、之、送、有、一、紙、通、之、完、結、
致、之、後、通、牒、仕、官、以、查、得、之、以、交、之、也、

地所家屋由買上秋

一京都府下京都市上京區東洞院通
御池上船屋所牙指六番戶所立之拙者
所有地所并建家土藏其庭園木石等
品之素多り且建具等一式有取之俟
代金
以上所買上
之成下度別紙評價仕譯書并繪圖
面相添紙設奉社上之也

現任所為也

年月。

地所家屋持主 谷川孫八郎

日本銀行

日本銀行京都出張所長 山本安三郎殿

山本安三郎殿

日本銀行

明治八年八月一日

文第 二八九號

現今京都出張所に於て所用の地所建物を今般持主谷川藤八君
買取方申出、次弟毛有之美越三君が買入方と爲り、越三君は承
取美支、義毛美之三君不敢電報及び承諾、台所通古致置、
寫在標記了、弟亦承取、然して御承取、連り委任状及び送付、寫在
記、この送付、此の計、本銀行の及、此の事、也

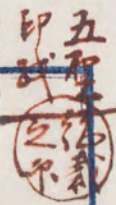
日本銀行總裁

川田 貞



理事 川上 在七郎 殿

字



委任状



一 自分儀都合に依り渡瀬正秀ヲ以テ部理代人ト
定メ左ノ権限ヲ代理セシム

一 谷川藤八所有京都市上京区東洞院通
御池上ノ船屋所十六番戸宅地壹ヶ所及同地上ノ
建物七棟ヲ代金五千五百圓ニテ買受ルニ其
契約證書ヲ公證人竹上正之助彼場ノ屬託シ
且其證書ニ記名調系ヲ為ス等一切ノ権

右委任状仍テ如件

東京市日本橋區北新堀所ニ番地

日本銀行總裁

川田小一



明治二十八年八月九日

銀行
之章

日本銀行

字

委任状



一 自分儀都合に依り吉田佐吉ヲ以テ部理代人ト
定メ左ノ権限ヲ代理セシム

一 谷川藤八ヨリ買取ルル京都市上京區東洞院
通御池上ノ船屋所十六番戸宅地壹ヶ所及同地
上ノ建物七棟ニ付京都市區裁判所ノ登記請
求ニ関スル一切ノ件ヲ便宜處分スル事

一 右請求ニ付必要ノ場合公ニ代印ヲ以テ取計ス事

右委任状仍テ如件

東京市日本橋區北新堀所ニ番地

日本銀行總裁

川田小一

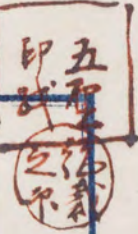


明治二十八年八月九日

川田小一



字



委任状



一 自命儀都合之依り渡瀬正秀ヲ以テ部理代人ト
定メ左ノ権限ヲ代理セシム

一 谷川藤八所有ノ京都市上京区東洞院通
御也上ノ船屋所十六番戸宅地壹ヶ所及同地止ノ

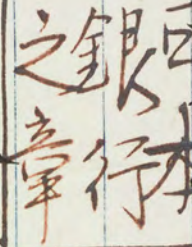
建物七棟ヲ代金五
千五百圓ニテ買受ルニ付其

日本銀行總裁川田山一郎謹
人竹上正之助彼場ノ屬託シ

且其記書ニ記名調
認スヲ為ス等一切ノ権

右ノ委任状仍テ如件

東京市日本橋區北新堀所ニ番地



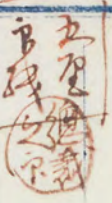
日本銀行總裁

明治二十八年八月九日

川田山一郎



日本銀行



字

委任状



一 自命儀都合之依り吉田佐吉ヲ以テ部理代人ト
定メ左ノ権限ヲ代理セシム

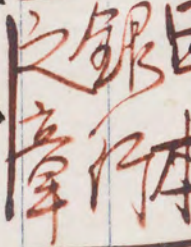
一 谷川藤八所有買取リ先京都市上京區東洞院
通御池上ノ船屋所十六番戸宅地壹ヶ所及同地

上ノ建物七棟ニ付京都市區裁判所ノ登記請
求ニ関スル一切ノ件ヲ便宜處分スル事

一 右請求ニ付必要ノ場合ハ代印ヲ以テ取計ス事

右ノ委任状仍テ如件

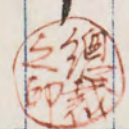
東京市日本橋區北新堀所ニ番地



日本銀行總裁

明治二十八年八月九日

川田山一郎



明治廿八年八月十四日
所長
渡瀬正秀

當出張所之用地係諸稅代納
之義有上京區役所之届案

代納人届

京都市上京區東洞院通即池上船屋所

一四百拾壹番地

市稅

右地所係租地方稅八拙者代納之條

此段及申届

明治廿八年八月十四日

京都市日本橋區北新堀町貳拾壹番地

所有者日本銀行總裁川田少郎納稅人

日本銀行

京都市上京區東洞院通即池上船屋所

四百拾壹番地

日本銀行京都出張所長心得

山本安三郎

京都市上京區長增田正殿

明治廿八年八月十四日
文書係四五

右地所ニ對シ當區内現住者ナシテ納税代人相定メ左記第壹號書式ニ據リ至急届出ラレ度若シ現在區内ニ寄留ノ向ハ第貳號書式ニ據リ寄留地納税ノ旨届出有之度候也

明治廿 年 月 日

京都市上京區役所

殿

(第壹號) 代納人届

京都市上京區何町通何町 上ル下ル 東入西入 何町

一何番地

幾筆アルモ此例ニ據リ列記スヘシ

右地所ニ係ル地租地方税市税ハ何ノ誰ヲ以テ代納人ト相定メ候條此段連署ヲ以テ及御届候也

何府縣何郡區何町村何番戶

年 月 日

所有者 何ノ誰 (印)

京都市上京區何町通何町 上ル下ル 東入西入 何町何番戶

納税代人 何ノ誰 (印)

京都市上京區長增田正殿

(第貳號) 寄留地納税届

京都市上京區何町通何町 上ル下ル 東入西入 何町

一何番地

幾筆アルモ此例ニ據リ列記スヘシ

右地所ニ係ル地租地方税市税ハ左ノ肩書寄留地ニ於テ納税可仕候條此段及御届候也

原籍何府縣何郡區何町村何番戶

當時京都市上京區何町通何町 上ル下ル 東入西入 何町何番戶寄留

年 月 日

所有者 何ノ誰 (印)

京都市上京區長增田正殿

所有物勘定

一金五千五百圓也

内洋

金千九百圓之

金五百圓之

金叁千百圓之

宅地 百九拾坪 三合九勺代

金庫 壹棟 七坪五勺代

瓦葺建家 七棟代

世傳紋 七於五坪七合七勺

内 二階建 三拾六坪九合七勺

土藏 三棟 拾五坪四合七勺

右之通

西曆廿八年八月十日

日本銀行 京都支店 所


日本銀行

明治八年八月十三日
文發第四四號

明治廿八年八月十三日

所長 



渡瀬正秀 

京都市上京區長、地所建物

登記済金高届書案

地所建物 登記済金高届

京都市上京區元廿九組船屋町

一四百拾壹番地

此賣買代價金千九百圓也

同

一建物 七棟

此賣買代價金叁千六百圓也

計金五千五百圓也

日本銀行

右、本月十日賣買登記済音、本市歩一稅
賦課條例第四條、基、此段及所届也

明治廿八年八月十三日

右買受人日本銀行總裁川田正郎代理

日本銀行京都出張所長心得

山本安三郎

上京區長増田正敏



家屋賃貸借為取替證書

左の納項を訂結す

第一條 所有主は右不動産の本證書を以て

起其の満十年間借受人に賃貸する事とす

第二條 借受人は前條の期限満了後、借

賃料を毎月十八日迄に賃借料として納付す

事とす

家屋賃貸借為取替證書

家屋賃貸借為取替證書



京都市上京區東洞院通り御池上ル船屋町拾六番戸ニ在ル土地并家屋ヲ所有スル谷川藤八（以下単々所有主ト称ス）ハ其土地并家屋ヲ別紙点數帳ノ通り造作所、俣川上左七郎（以下單々借受人ト称ス）ニ賃貸スルコトヲ契約ニ左ノ約項ヲ訂結ス

第一條 所有主ハ右不動産ヲ本證書日付ヨリ起算ニ滿參ケ年間借受人ニ賃貸スルモノトス

第二條 借受人ハ前條ノ期限内右不動産ヲ借受ケ毎月廿八日迄ニ賃借料トシテ金貳拾

五圓ヲ所有主ニ支拂フヘキモノトス壹ケ
月ニ滿タサル期間ハ日割ヲ以テ計算スル
モノトス

第三條 所有主ハ第一條ノ期限中ニ任意ヲ以
テ又ハ法律ノ結果トシテ右不動産ヲ他人
ニ移轉シ又ハ書入等ヲ爲スモ其継承人又
ハ債權者ニ對シテ此契約ハ有効ナリトス
又借受人ハ右期限中ニ該不動産ヲ他人ニ
轉貸スルコトヲ得ルモノトス

第四條 右不動産ニ關スル國稅地方稅及市稅
其他一切公共ノ負擔ハ所有主ヨリ之ヲ支
拂フヘキモノトス故ニ借受人ハ單ニ自己

ノ營業ニ對スル租稅ヲ負擔スルニ止マル
モノトス

第五條 所有主ハ敷金トシテ金參百圓ヲ借受
人ヨリ預リタル故ニ期限ノ滿了又ハ其他
ノ理由ニ依リテ不動産ヲ引取ルハ所有
主ヨリ敷金全額ヲ直ニ借受人ニ拂戻スヘ
シ若シ所有主之ヲ怠リタルハ其保証人
ヨリ五日以内ニ借受人ニ辨償スヘキモノ
トス但借受人ハ火ヲ失シ家屋燒失シタルハ
ハ本文ノ敷金ハ返却セサルモノトス
第六條 本契約ノ繼續中ニ借受人ノ明カナル
過失怠慢ニ非ル原因ニ依リテ右不動産ニ

損害喪失ヲ生スルモ全ク所有主ノ負担ト
ナス故ニ爲メ第五條ニ定メタル所有主
ノ義務ニ影響ヲ生スルコトナキモノトス

第七條 前第六條ノ場合ニ於テ損害重大ニシ
テ家屋ノ使用ニ著シク不便ヲ生スル片ハ
借受人ハ此契約ヲ解除シテ右不動産ヲ所
有主ニ引渡シテ全ク其義務ヲ免カルモ
ノトス

第八條 借受人ハ右不動産占有中ニテ修繕ス
ルモノトス又其使用ノ目的ニ對シテ要ス
ル新設及模様替ヲ爲スハ借受人ノ随意タ
ルヘキモノトス

第九條 前條ニ依リ借受人カ新設及ヒ模様換
ヲ爲シタル部分ハ右不動産明渡ノ際所有
主ノ請求スル程度マテ之ヲ舊狀ニ復セシ
メ若クハ之レヲ爲スニ就キ要スル費用ヲ支
拂フヘキモノトス

右九ヶ條ニ記載スル各約項ハ本契約ノ各當事
者及ヒ其業継人若クハ債権者ニ於テ確守スヘ
キモノトス依テ本証書并附属点数帳ハ共ニ貳
通ヲ作り各自記名調印シテ所有主及ヒ借受人
ニ於テ各壹通ヲ保持スル者也

明治二十七年 月

即崇三教十...

東京市麻生區竹谷町拾壹番地寄留

鹿兒島縣士族

川上左七郎



Faint vertical text in the background columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.



東也... 鹿兒島縣...

川上左七郎

家屋附物點數書



家屋附物點教書



家屋附物點教書

一表側ノ部

表門口戸

敷居門

上ノ店

壹個

縮屋平格子

腰三間
表門口廿儿戸 壹個

出格子

高堀

忍返

駒寄

戸袋

貳個

一奥ノ間

畳拾枚

椽板

椽外戸袋雲障子

雨戸

敷居鴨居

総天井

床柱

床敷居

床力マキ

床天井

床畳

明り窓 敷居鴨居

明り障子

貳枚

床脇板間

同照袋戸棚

同襖

貳枚

床取違棚

次三、間仕切
式間敷居鴨居

同地袋戸棚

嶋桐
利齊好櫛形欄間
式間宛

同襖

式枚

床照吹抜

木格子連子障子

式枚

椽内敷居鴨居

檜式間障子 四枚

押入間中釣襖 壹枚

一次ノ間

畳六枚

椽内雨戸

総天井

椽内敷居鴨居

木格子連子障子

式枚

檜式間障子

四枚

押入敷居鴨居

襖壹間半

四枚

一通貳畳ノ間

畳 板床貳枚

総天井

椽内雨戸

椽内敷居鴨居

連子障子

壹枚

檜壹間口障子

式枚

南北敷居鴨居

式口

西側敷居鴨居

西側壹間口押入襖

式枚

一通鞘ノ間

板間

総天井

板間

組上段梯子

東側平敷居鴨居

同間中釣襖

壹枚

西側平敷居鴨居

同間中釣襖

壹枚

一居間ノ部

畳九枚

椽板

椽外戸袋雨戸

雲障子敷居鴨居

総天井

床柱

床鴨居

床カマナ

床天井

床板畳

床明窓敷居鴨居

同明障子

式枚 北側押入敷居鴨居

押入壹間口襖

式枚

次ノ間中仕切、
式間敷居鴨居

高相利齊好
櫛形欄間壹間宛

式掛

木格子連子障子

式枚

椽敷居鴨居

檜障子式間

四枚

南側押入間中釣襖

壹枚

間中敷居鴨居

入口襖壹間中

四枚

一居間次ノ間

畳六枚

椽内兩戸

総天井

椽内敷居

木格子連子障子

式枚

檜式障子

四枚

押入敷居

間中釣襖

壹枚

南側入口戸仕

式枚

一奥臺所ノ間

畳八枚

椽外戸袋兩戸

四枚

天井

二階床

取付押入戸

式枚

西側連子障子

式枚

同敷居

吉間半障子

四枚

釣障子

壹枚

同障子

壹枚

南側雲障子

叁枚

臺所上ノ口戸

四枚

一臺所ノ間

畳八枚 小畳壹枚

雲障子

式枚

天井

二階床

二階上ノ組段梯子

押入敷居

戸

壹枚

木格子小窓障子 式枚

一玄閣

畳叁枚

総天井

上ノ口

敷居

壹間半戸

四枚

同障子

式枚

同連子障子

式枚

西側腰高

式枚

同敷居

東側

敷居

同九サ

式枚

次ノ間中仕切

敷居

一玄閣次ノ間

畳四枚半

外戸袋

式枚

総天井

北連子障子

壹枚

同敷居

檜間口

式枚

西側

敷居

檜間半

四枚

二階掛

壹枚

東側

敷居

同老間

式枚

一北格子ノ間

出格子障子

拾式枚内締り戸

四枚

北押入

敷居

押入式間半 四枚南側敷居 押入式間半 四枚

同 壹枚西側外戸袋 西側敷居

連子障子 貳枚而戸 叁枚檜障子 四枚

天井二階床 板ノ儘

一店ノ間

天井二階床 板ノ儘 東堺戸 叁枚同戸 五枚

明り障子 貳枚南上り口界戸 壹枚同戸 四枚

敷居鴨居 貳口戸袋

一入口南ノ間

界戸 壹枚

一玄閑庭

庇ヨリ折廻り下迄悉皆銅土植

一臺所入口

カ儿戸 壹枚 同南側壹間半葛蒲張 檜板圍 壹枚

一臺所庭

井戸車 釣瓶 走り并棚

押入 同戸 貳枚庭床

見限り 眼隠シ 大戸 大釜并竈公 茶棚 壹何

竈公 銅 壹何 角爐火鉢 米櫃

取附炭入場 押入下引出 同壹間 貳枚

肴戸棚 同戸 貳枚裏出口戸障子 貳枚

一裏口

銅卷井戸車 釣瓶 井戸蓋

湯殿半帖 板間 障子入 釣戸 貳枚同入口戸 壹枚

下駄箱 式何 西便所 目隠し 瓦枚 物入戸 瓦枚

高塀 ツナキ 鉄 棒 物置部屋綱戸 式枚

一土蔵 四ヶ所

戸前及錠鍵付土戸開キ総テ覆ヒ付

前廻リ居間大屋根銅土樋

奥座敷屋根居間小屋根庇折廻リ西便所廊下廻リヨリ物

置部屋折廻リ北土蔵庇ニ袖藏込悉皆銅土樋

臺所大屋根小屋根庇廊下椽庇并戸湯殿屋根西便所裏

廻リ銅土樋

西便所表前ヨリ袖土蔵込鐵力士樋

一奥前栽

大春日石燈籠 壹個

小石燈籠 壹個

大梨目手洗鉢 壹個

青銅手水鉢 壹個 并ニ岩

椽沓脱石 貳個

大伽藍石 壹個

葛蔓石 壹個

鉢前 四ツ石 捨石

枝折門 壹個

瀬戸并戸車 壹個

松樹 貳本

南天 貳株

橙 壹本

錦木 壹本

カナメ 叁本

檜 壹本

小見垣 貳個

一中庭ノ部

大屋根小屋根庇三方折廻ニ悉皆銅土樋

鎮守社 石垣共

石燈籠 壹個

小見垣 壹個

椽橋掛 壹個

長椽先

二階ノ部

一奥ノ間

椽板手摺

椽外戸袋

敷居鴨居

雲障子式枚

雨戸五枚

総天井

床柱

床鴨居

床力マナ

床天井

槻床板

床窓

同敷居鴨居

同窓障子式枚

床服押入

同敷居鴨居

同襖式枚

次ノ間中仕切
式間敷居鴨居

簾摩杉
捨板形枚
欄間
式間宛
枚

西側椽先
敷居
鴨居

木格子連子
障子
式枚

檜
式間
戸仕組
障子四枚

南側上ノ口
敷居鴨居
戸仕組襖
式枚

一次ノ間

北側
下口平敷居
鴨居

同
間中
襖
式枚

押入
敷居
鴨居

押入
式間口
襖
式枚

東側
敷居
鴨居

雨戸四枚

連子障子式枚

明り障子四枚

南側上ノ口
敷居
鴨居

同
戸仕組
襖
式枚

一下ノ間奥

畳六枚

椽外戸袋

椽板
手摺

椽
敷居
鴨居

雲障子式枚

雨戸三枚

奥
上ノ口
式間
足継取付
式枚

総天井

西側
敷居
鴨居

同
杉
障子
四枚

南側
押入敷居
鴨居

押入
式間
口
戸四枚

次ノ間中仕切
敷居鴨居

椽外涼臺
但物置場

一同次ノ間

畳六枚

総天井

上ノ間上ノ口
式間
足踏継取付
式間

同小板間

二階上り込
取付手摺
志組

同 押入東口内ヨリ
大見上り段揚子
志組

南側 押入敷居
鴨居

押入 志間口
戸

大屋根
大見上り
志組

一神祭ノ間

小屋根カラス
金網 窓

兩戸 志組

總天井

兩側 明り
障子 志組

敷居 鴨居

北側 敷居
鴨居

同 志間半口
複 志組

西側 敷居
鴨居

同障子 志組

一下ヨリ上り口

畳 志組

總天井

板床 志組

北側 敷居
鴨居

同障子 志組

釣雨戸 志組

東側 敷居
鴨居

戸 志間口
志組

一表ノ間

畳拾九枚

天井裏板

ムシ子
敷居 鴨居 志組

同戸七枚

同障子八枚

西側 敷居

同外戸袋

兩戸 志組

障子四枚

小板間

右ハ今般貴殿所有ノ建家ニ附属スル點敷品々借用候儀確實也借用中精々入念保護可致候自然汚入用品有之候得ハ其節汚談ノ上返却可致為後日附属品借用證如斯也

大坂市北區差松町

明治廿七年二月五日

川上左七郎



谷川藤八殿

山谷雜入類

品名

品名



品名

品名

品名

品名

品名

品名

品名

品名

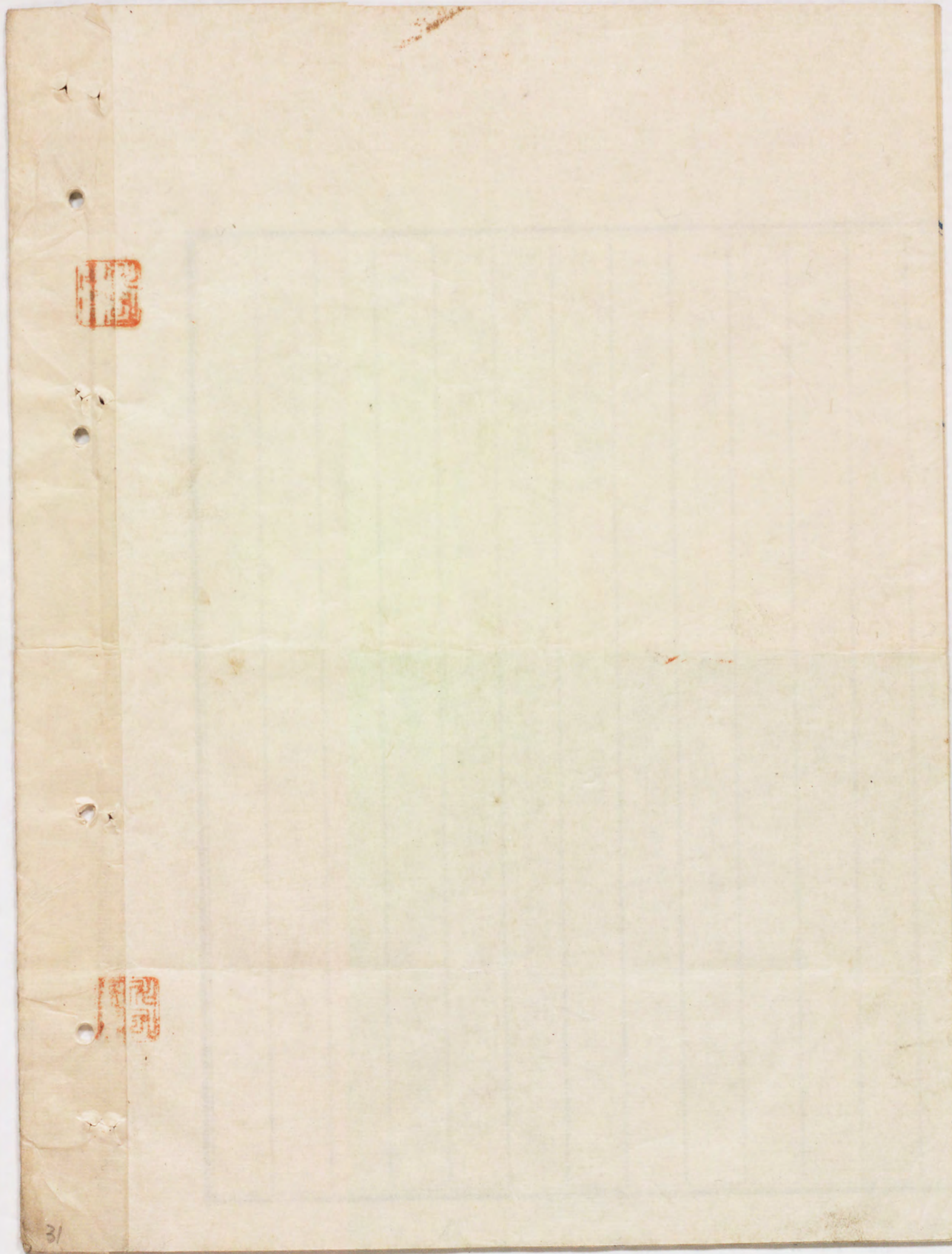
品名

品名

品名

品名

品名



家屋附物點數書

一表側、部

表門口戸 敷居門 上子店 志何

納屋平格子 腰三間 表門口廿八戸 志何 出格子

高塀 忍返 駒寄

戸袋 貳何

一奥、間 疊 拾枚

椽板 椽外戸袋雲障子 雨戸

敷居鴨居 総天井 床柱

床敷居 床力マ子 床天井

床疊 窓、敷居鴨居 明、障子 貳枚

床脇板間 日脇袋戸棚 日襖 貳枚

床脇去遊棚 日地袋戸棚 日襖 貳枚

次三、間仕切 吉間敷居鴨居 鳴棚 檜形欄間 志何宛 貳枚 床版改被

木格子連子 障子 前枚 椽内敷居鴨居 檜前間障子 四枚

押入間中鈎襖 志枚

一次、間 疊 六枚

椽内雨戸 総天井 椽内敷居鴨居

木格子 連子障子 貳枚 檜前間障子 四枚 押入敷居鴨居

襖志何半 四枚

一通貳疊、間 田登 板床 貳枚

総天井 椽内雨戸 椽内敷居鴨居

連子障子 志枚 檜 障子 前枚 南敷居 貳何

西側 鴨居 西側 障子 貳枚

一通鞠之間

板間

總天井

板間

東側平敷居

組上段様子

西側平敷居

西側鴨居

一居間之部

疊九枚

椽板

椽外戸袋雨戸

總天井

床柱

床カマキ

床天井

床明窓敷居

北側押入敷居

押入走間口

椽障子敷居

木格子蓮子障子貳枚

椽障子貳枚

南側押入間中

入口襖中

二居間次之間

疊六枚

椽内兩戸

總天井

木格子蓮子障子貳枚

椽内鴨居

間中釣襖

南側入口組襖

一奥臺所之間

疊八枚

椽外戸袋雨戸

取向押入戸

西側蓮子障子貳枚

南側障子

釣障子

南側雲障子

臺所上り口戸

臺八枚小畳

一臺所之間

疊八枚小畳

雲障子

二階上組段様子

押入敷居

戸

木格子窓障子貳枚

一玄 関

畳 叁枚

総天井

上り口 鴨居

唐間半戸

四枚

日障子

貳枚

日蓮子障子

貳枚

西側 鴨居

貳枚

日障子

東側 鴨居

同 丸戸

貳枚

次、間中仕切、鴨居

一玄 関次、間

畳 四枚半

外戸袋

貳枚

総天井

北連子障子

壹枚

同 鴨居

檜走間口

貳枚

西側 鴨居

檜走間半障子

四枚

二階掛、戸

壹枚

東側 鴨居

同 走間戸

貳枚

一北 格子、間

出格子障子

拾貳枚

内締り戸

四枚

北押入 鴨居

押入戸 貳間半

四枚

南側 鴨居

押入戸 貳間半

四枚

同

壹枚

西側 外戸袋

西側 鴨居

連子障子

貳枚

雨戸

叁枚

檜障子

四枚

天井 二階床板、係

一店、間

天井 二階床板、係

東堀戸

叁枚

同戸

五枚

明り障子

貳枚

南六口 界戸

壹枚

同戸

四枚

敷居鴨居

貳口

戸袋

一入口 南、間

界戸

壹枚

畳 叁枚

一玄 関、庭

庇ヨリ 打廻り、下迄悉皆銅土樋

一 臺所入口

升几戸 走板 同南側走板 走板

一 臺所庭

升戸車 釣瓶 走、并、棚

押入 同戸 煎板 庭床

見限、眼隠 大戸 大金并 竈公 茶棚 走板

竈公 竈公 角爐火鉢 米櫃

取附炭入場 押入下引出 同走間 煎板

肴戸棚 同戸 煎板 裏出口戸障子 煎板

一 裏口

銅卷升戸車 釣瓶 升戸蓋

湯殿 羊板 煎板 同入口戸 走板

下駄箱 煎板 西便所目隠 煎板 物入戸 走板

高塚 鉄棒 物置 寄屋 綱戸 煎板

一 土藏

戸前及錠鍵付土戸用 綵テ 覆ヒ 煎板

前廻、居間大屋根 銅土樋

奥座敷屋根居間小屋根庇折廻、西便所廊下廻、ヨリ物

置部屋折廻、北土藏庇ニ 袖藏迄委皆 銅土樋

臺所大屋根小屋根庇廊下椽庇升戸湯殿屋根西便所

裏廻、銅土樋

西便所表前ヨリ袖土藏迄 鋳才土樋

一 奥前裁

大春日石燈籠走間 小石燈籠走間

大梨目手洗鉢 老何

青銅手水鉢 老何 并 岩

椽沓脱石 真何

大伽藍石 老何

葛蔓石 老何

鉢前 四ツ石 捨石

枝折門 老何

瀬戸丹戸車 老何

松樹 真何

南天 并 株

力十ノ 老何

錦木 老何

小見垣 真何

檜 老何

橙 老何

一中庭ノ部

大屋根小屋根底三方折廻ニ悉皆土樋

鎮守社 石垣共

石燈籠 老何

小見垣 老何

椽橋掛 老何

長椽先

二階ノ部

一奥ノ間

椽板手摺

椽外戸袋

敷居鴨居

雲障子貳枚

雨戸五枚

総天井

床柱

床鴨居

床カマ子

床天井

楓床板

床窓

同敷居鴨居

同窓障子貳枚

床脇押入

同敷居鴨居

同襖貳枚

次間中仕切
貳間敷居鴨居

薩摩杉欄間 老何宛
捨形彫板 貳枚

西側椽先 敷居
鴨居

木格子連子
障子 貳枚

檜 老何
障子四枚

南側上り口 敷居鴨居
正室襖 貳枚

一次ノ間

北側 下口平敷居 鴨居 同 間中 走板 押入 敷居 鴨居

押入走間口襖 敷居 東側 敷居 鴨居 雨戸四枚

連子障子 敷居 明障子四枚 南側上口 敷居 鴨居

同 戸仕 紙襖 貳枚

一下ノ間奥 四畳六枚

椽外戸袋 椽板并手摺 敷居 鴨居 椽 敷居 鴨居

雲障子走板 雨戸三枚 西側 敷居 鴨居 同障子 敷居 鴨居 四枚

総天升 同 敷居 鴨居 南側 敷居 鴨居 押入 間戸四枚 敷居 鴨居 同 間中仕切 敷居 鴨居

椽外涼臺 恒置物場 押入 間戸四枚 敷居 鴨居

一回次ノ間 総天升 上ノ間上ノ口走間 足踏継取付 走板 同小板間

二階上ノ走組 取付手摺 同 押入 敷居 鴨居 南側 押入 敷居 鴨居 押入 斗間口

大屋根 火ノ見 走組

一神祭ノ間 畳冬枚 総天升

小屋根カラス 金網 窓 雨戸貳枚 同 敷居 鴨居 北側 敷居 鴨居

西側 敷居 鴨居 同障子 敷居 鴨居 同障子 敷居 鴨居

同走間半口襖 敷居 西側 敷居 鴨居 同障子 敷居 鴨居

一下ヨリ上ノ口 甲宣 敷居 貳枚 北側 敷居 鴨居

総天升 板床 間半 走板 東側 敷居 鴨居

同障子 敷居 貳枚 釣雨戸 敷居 走板 東側 敷居 鴨居

戸 走間口 貳枚

一表ノ間 天升裏板 ムシ子 敷居 鴨居 貳口 同戸七枚

同障子八枚

西側 敷居

同外戸袋

雨戸 叁枚

障子四枚

小板間

ノ

右ハ今般貴殿所有、建家ニ附属スル點數品々借用候儀確實也借用中精々入念保護可致矣自然御入用品有之矣得ハ其節傳談、上返却可致為後日附属品借用證如斯矣也

大坂市北區若松町

明治二十七年二月子春

川上左七郎

谷川藤八殿

一金五千五百圓

内淨

金千八百拾壹圓七拾五錢九厘

地坪百八拾坪壹分七厘
但寺坪金拾圓一割

金千九百九拾四五拾錢

家屋七拾五坪七合

内

金叁百圓

亭亭二階建家屋八坪
金拾圓

金叁百拾六圓

八坪
金拾圓

金叁百拾四圓

三坪
金拾圓

金千四拾貳圓五拾錢

平家建家屋四坪壹分
金拾圓

金千叁百拾五圓

土藏家屋壹拾六坪壹分
但寺坪金五拾圓一割

日本銀行

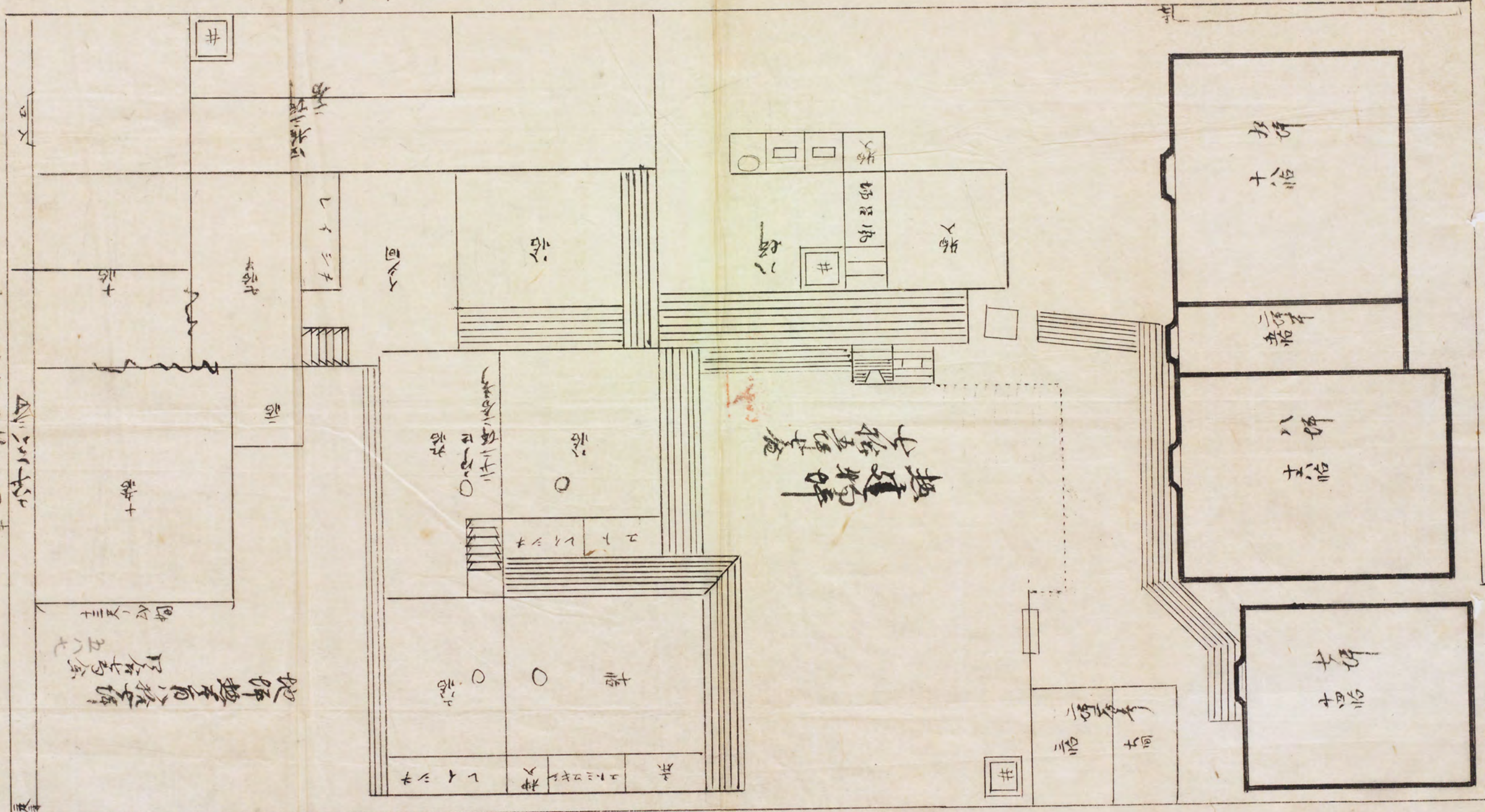
金叁百拾四圓七拾四錢九厘

庭園木石所原品等一貳

右之通

物地坪百八十八坪合七白五反

奥行拾八間六分 百拾五反二寸



奥物 十七尺三寸

奥行拾八間六分 百拾五反二寸

奥行拾八間六分 百拾五反二寸

地研家屋印留上願

一、地研家屋印留上願
二、地研家屋印留上願
三、地研家屋印留上願
四、地研家屋印留上願
五、地研家屋印留上願
六、地研家屋印留上願
七、地研家屋印留上願
八、地研家屋印留上願
九、地研家屋印留上願
十、地研家屋印留上願

西曆一九〇九年
七月廿六日

高野寺下、地研家屋印留上願

地研家屋印留上願

地研家屋印留上願

台川 知八



日知地研家屋印留上願
山女 安之 弟殿

地田集



力多形市ノ多由東國院田中地之船里所
才多拾之由地

一 尾地 乃拾洋 重合の文

此代重合の乃重合の拾結也

一 古地 乃土藏 四ヶ所

此速洋拾洋七ヶ所

此代重合の乃拾結重合拾結也

一 古地 乃速東 四ヶ所

此速洋七拾洋重合 二拾速東

此代重合の乃拾結重合拾結也

針 重五千重乃七拾六ヶ所拾結

附原品

一 速乃重合 乃他押入為研出の一式

夜多捕未石拾結 乃類重合乃他

此代重合乃拾結重合の拾結也

一 古地 針 重五千重乃五ヶ所拾結也

此代重合の乃拾結重合の拾結也

乃研出者 乃川 乃知八

且此種乃拾結重合の拾結也

丸田集



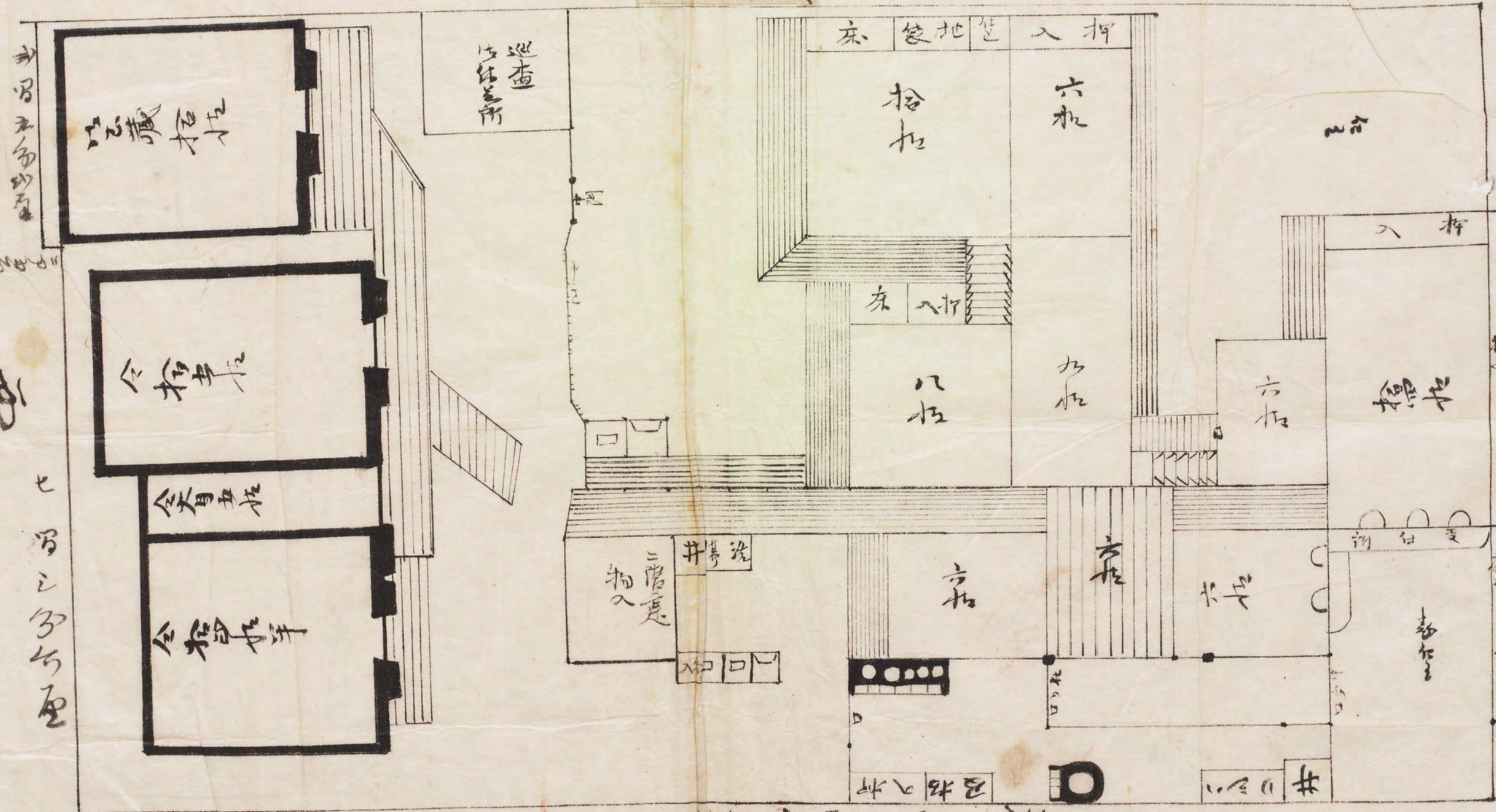
表例

河吊七回重合

表三階重合

乃重合の乃拾結重合の拾結也

北二房



抄写五房抄写

北

七房之抄写

二房五房
 抄写五房抄写
 抄写五房抄写

北
 拾
 肆
 八
 五

抄写五房抄写



糸織布と多由東河原通和池之船里所
才可為珍多由地

一 足地 五の物様 乙合の文

地廣事元様五の物様之物也

此の石分ノ二羊

其ノ年重敷之品拾四物御用也

名ノ通之布ノ物也

四物御用也

台川 海八



只女物之品様也法研布中

尾田



地所借用証

京都市上京区東洞院御池先船屋町四百一番地内

東西 拾九尺

南北 壹尺八寸

古者貴族^行以所有地^{ニテ}拙者所有古全所四百
九番地々境空地^ニ知去^レ明治廿九年六月拙者
所有地建物模様^ヲ際^{ヨリ}誤^テ古空地使用
致^ス来^リ此^レ際^ニ真^ニ以^テ近地^ニ致^ス知^レ持^テ多^ク
以^テ今^レ後^ニ每^レ科^ニ以^テ貸^テ渡^シ義^ニ以^テ承^テ諾^シ下^ニ去^リ記^ス地^所
拙者^ノ於^テ借用^致在^ル知^ル矣^ト也^ト於^テ上^ニ古地^所上^ニ
於^テハ現^存取^扱取^扱外^ニ一切^ノ建物^等築^造致^スハ^ハ
勿^レ論^ス以^テ用^ノ節^ハ何^レ時^タリ^トモ異^議無^ク以^テ近^却
不^レ致^ス有^レ依^テ而^テ借用^証書^如件^ト

京都市上京区東洞院東入

兼屋所

明治廿九年冬月廿四日 西尾栄助



易^レ退^行萬^事始^也後^所長^心以^レ

綿貫吉徳殿

圖之張竹操高側面

竹操高六尺

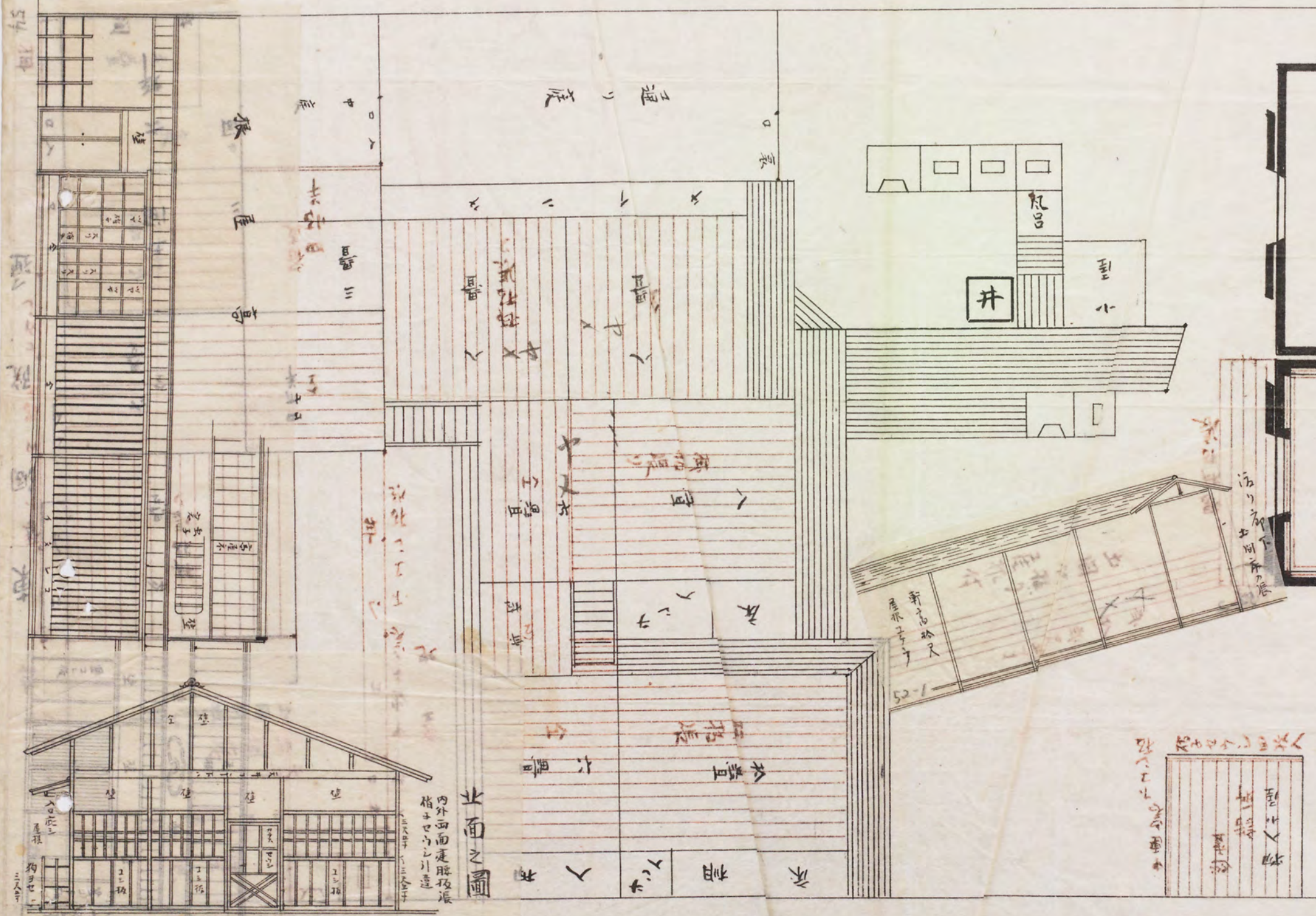


表口拾間四分五厘
奥行拾八間四分五厘

勢

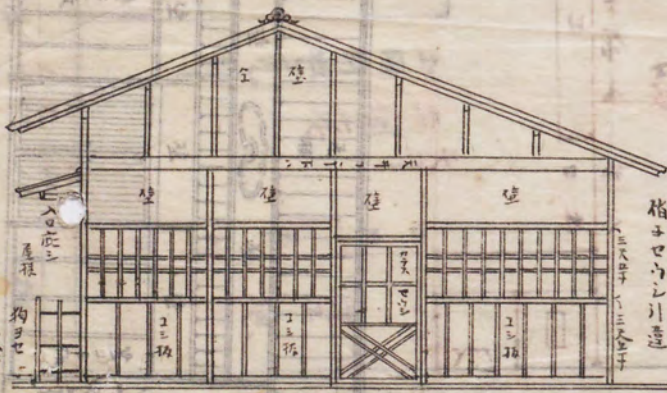
見出し
墨線者在表分
朱線者新木

湯紙、新、古、本、可



亦

四面之圖
内外四面是腰板張
指寸也、川邊

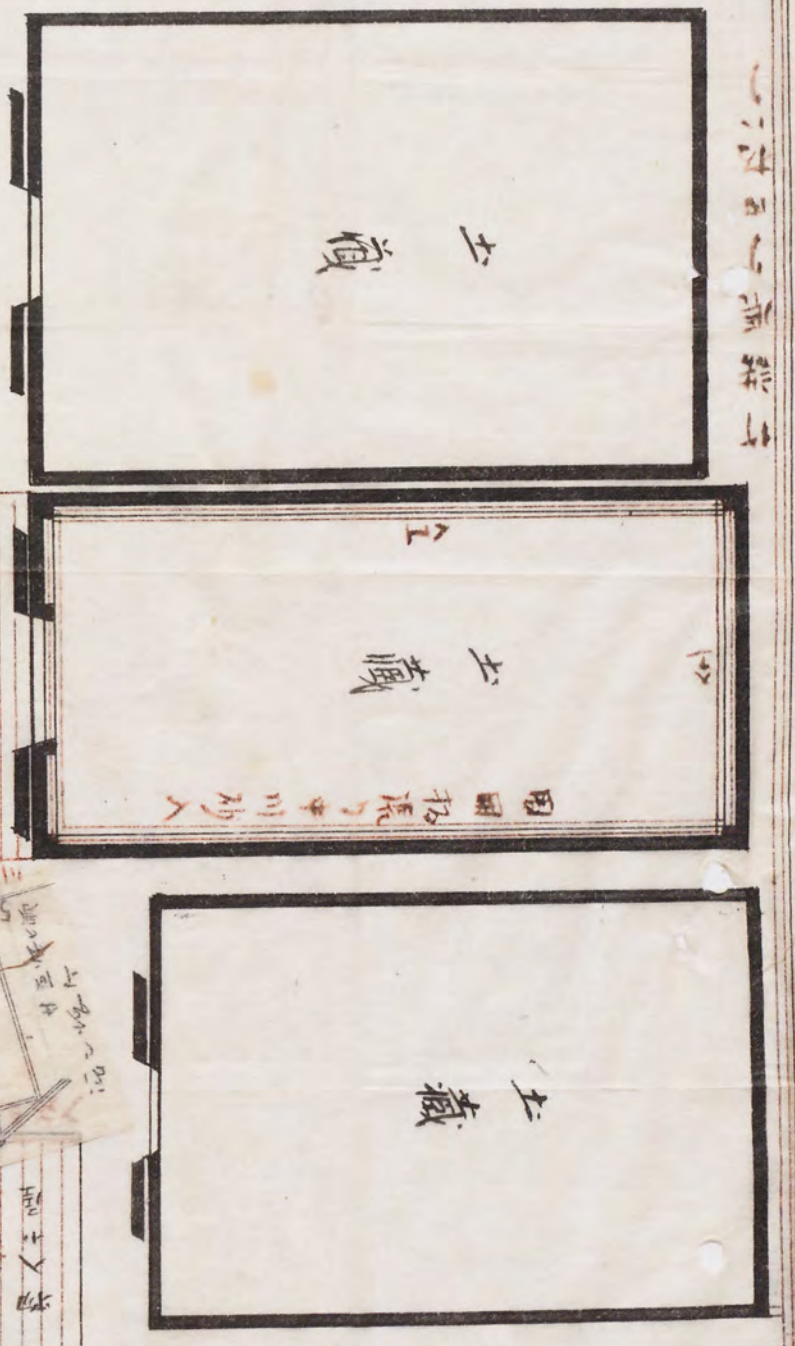


濃紙、新、与、本、了

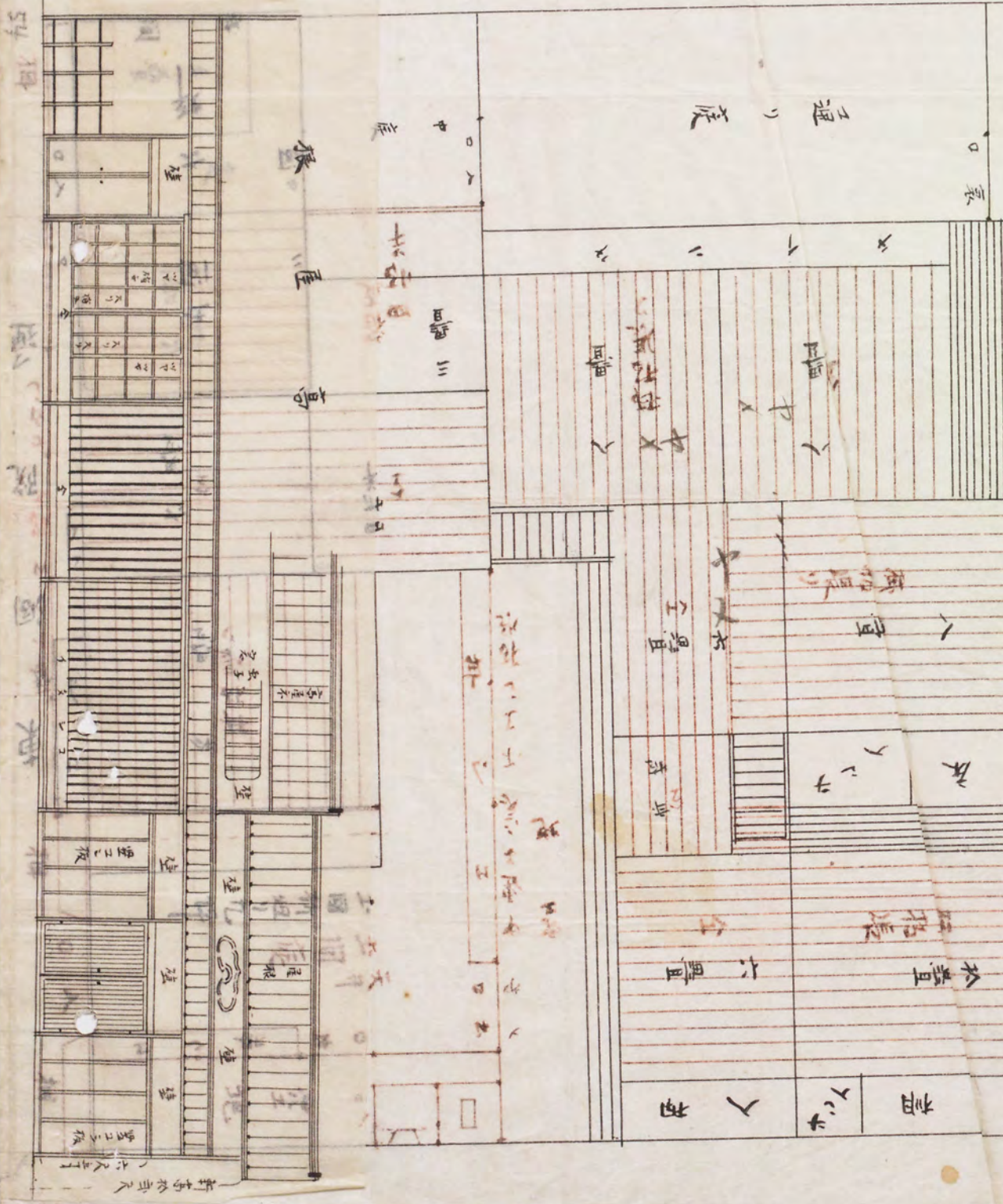
墨線者在表分
朱線者新本
見出之

表口拾間四分五厘
奥行拾八間四分五厘

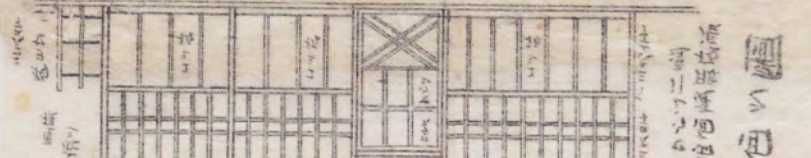
井

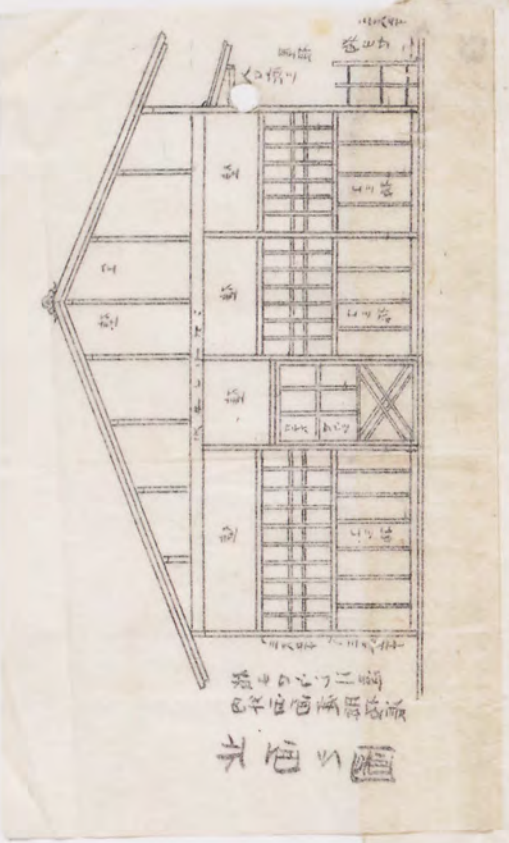
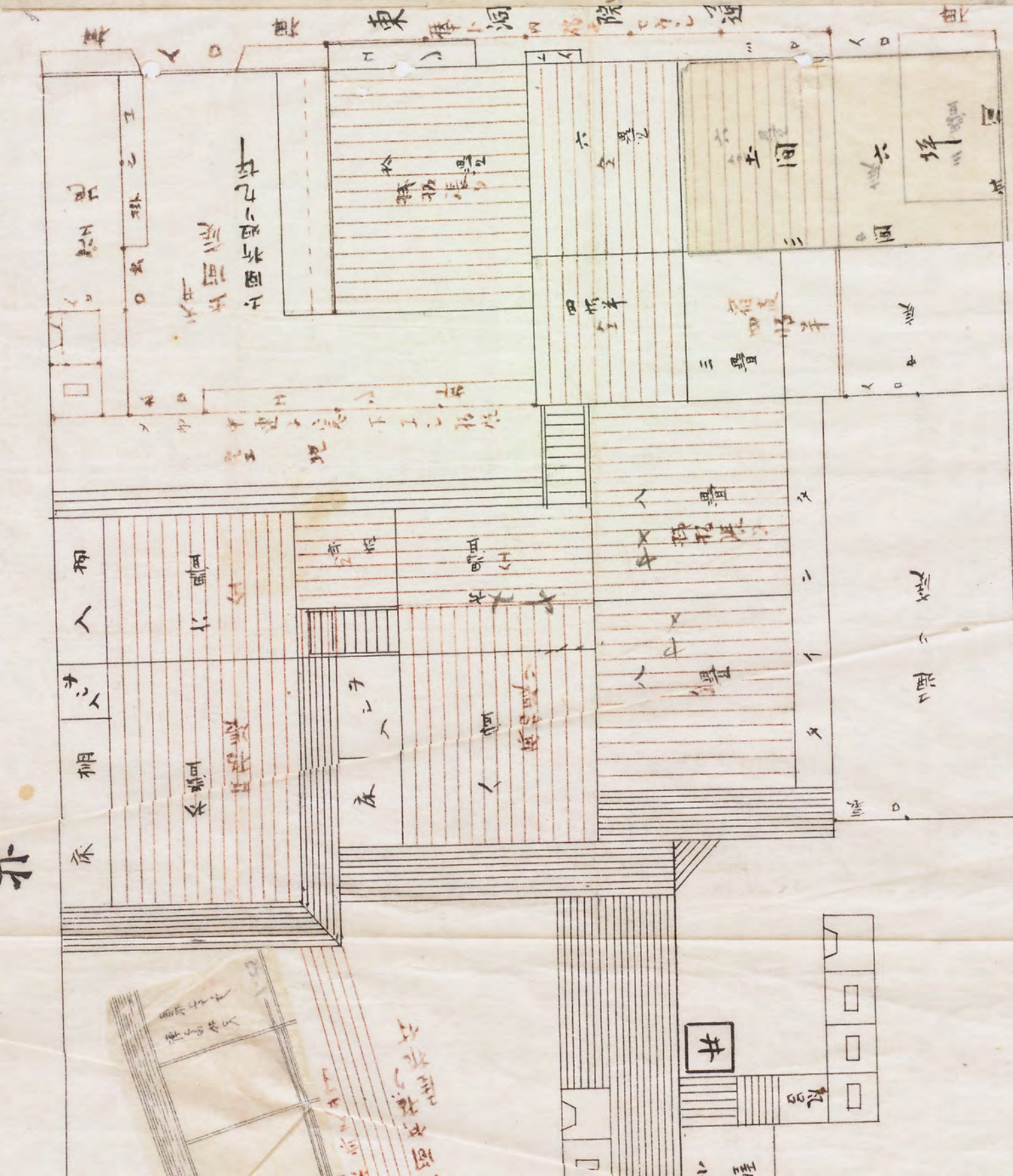
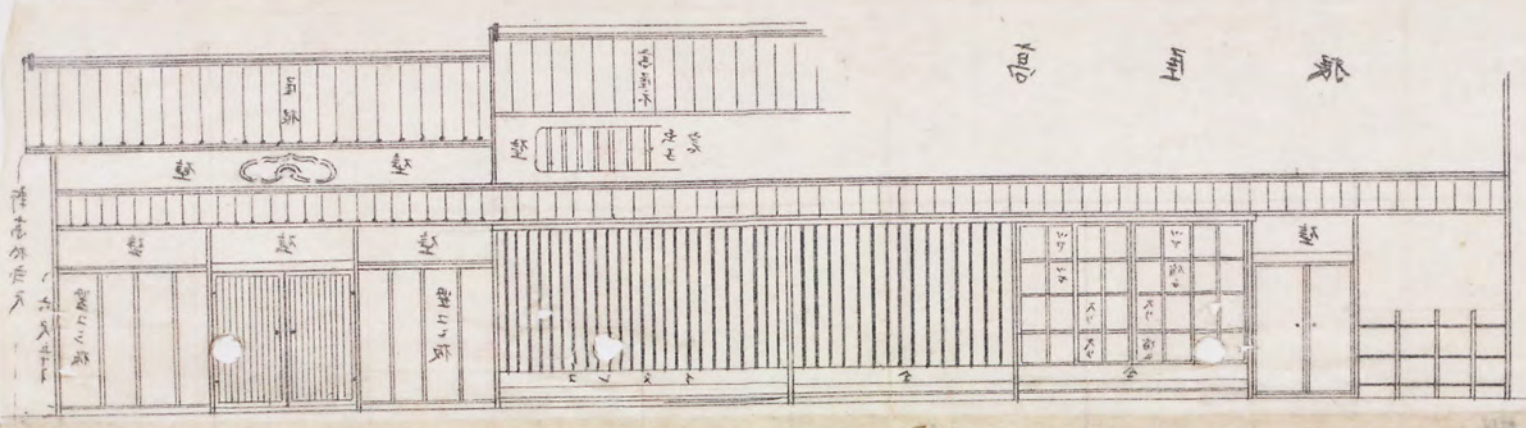


54 脚



亦





這紙是新的本
未認者新木
墨線者在未分

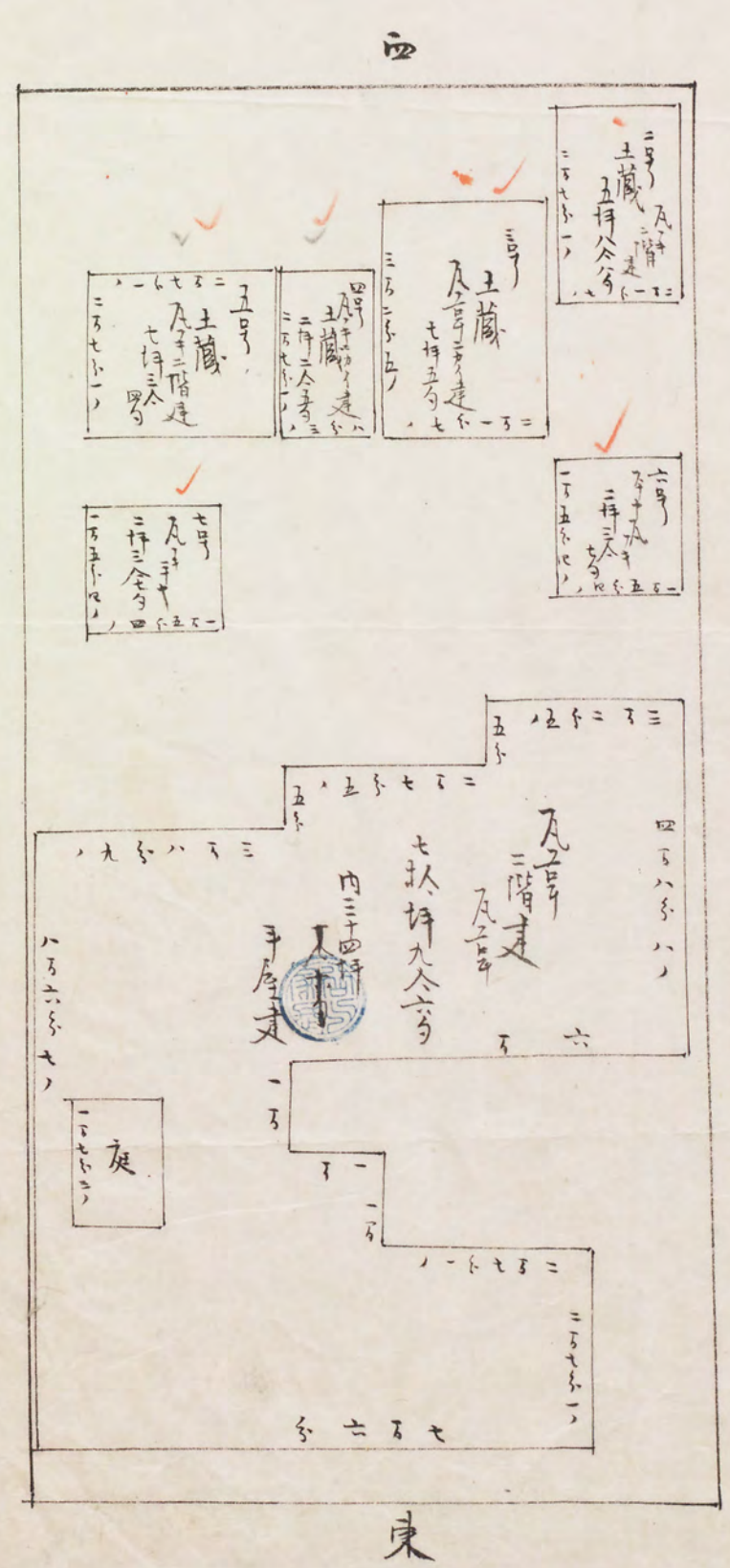
見此

南

西門口
西門口

亦

明治廿八年八月九日 渡
 京都市上京区東洞院通池坊左所屋町四百
 松壽寺地建物圖自造作付



谷川 藤八

保田 左藏

瀧本 興一

代人 瀧本 興八

日本銀行總裁

川田 小一郎 殿

此書は在物屋及谷川左藏書所へ提出するものなり

第 一 甲 區			
由	格 價	日 登 付 記	權 利 移 付 者
		明治五年九月九日	
		年 月 日	
		年 月 日	
		年 月 日	

登記簿謄本 四九

第 十 號			
順 番	名 額	利 息	期 限
第一番	金 額	利息	期限
第二番	金 額	利息	期限
第三番	金 額	利息	期限

債 主	債 主	債 主
<p>明治五年九月九日</p> <p>上野区南池袋 井原町 北野 北野 北野</p>	<p>明治六年二月廿五日</p> <p>上野区南池袋 井原町 北野</p>	<p>明治六年七月廿六日</p> <p>上野区南池袋 井原町 北野</p>

1000
1000

第 乙 區		第 丙 區									
消	取	記 付入	事 由	順 番	名 額	行 抵	上 當	執 行	金 額	第 乙 區	
										消	取
		年 月 日		第							
		年 月 日		第							
		年 月 日		第							
		年 月 日		第							
		年 月 日		第							

登記簿 謄本

百五〇丁

登記所

右登記簿ニ依リ謄寫スル者也

年 月 日

物件番號

第

號

第

第

指

號

登記簿

登記簿謄本

登記簿謄本

登記所

物

件

取

消

丁

順番第 番第 番第 番第 番第

所有者

登記

事

東京市足立區北新
堀町三丁目番地
日本銀行
川田小一郎
伊之吉田佐六

明治三十八年九月

買賣證書
正式登記簿

登記
伊之吉田佐六
伊之吉田佐六
伊之吉田佐六

101-111111
3111111111

第 二 區 乙							第 三 區 丙										
消			取				消			取							
更			記				更			記							
消			取				消			取							
			明治二十九年八月廿九日	乙種控訴身七三三三	明治二十九年八月廿九日	乙種控訴身七三三三											
			明治二十九年八月廿九日	乙種控訴身七三三三	明治二十九年八月廿九日	乙種控訴身七三三三											
			明治二十九年八月廿九日	乙種控訴身七三三三	明治二十九年八月廿九日	乙種控訴身七三三三											

登記簿謄本

登記所

右登記簿ニ依リ

明治二十九年八月廿九日



京都區裁判所

判事 佐々木玄重



物件
番號

第

六

號

第

一

物

上島邑東河原浦池之船屋所
才田百十番地
三皇地百九拾坪 幸在凡勾

取

登記簿謄本

才田
百十
番地
三皇
地

件

登記簿謄本

百三六丁

登記所

消

順番

第 一

番

第

番

第

番

第

番

第

六

號

所有者

上島邑東河原浦池
才田百十番地
三皇地
百九拾坪
幸在凡勾
昭和四年十月一日
改名百三番地

登記

昭和四年十月一日
才田百十番地
三皇地
百九拾坪
幸在凡勾
甲種持許地
昭和四年十月一日
才田百十番地



第

一

甲

區



由	格價	日登記	利權	移付者	取	消
	石川借取 金銀百兩	明治七年七月十五日		石川 夕子		
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				

登記簿謄本

百三十七

登記簿

第

六

號

順番	名額	利息	期限	抵當ノ事	債主	債負
第一番	金銀百兩	年利三厘	明治七年七月十五日	石川借取 金銀百兩	石川 夕子	石川 夕子
第二番	金銀百兩	年利三厘	明治七年七月十五日	石川借取 金銀百兩	石川 夕子	石川 夕子
第三番	金銀百兩	年利三厘	明治七年七月十五日	石川借取 金銀百兩	石川 夕子	石川 夕子
第四番	金銀百兩	年利三厘	明治七年七月十五日	石川借取 金銀百兩	石川 夕子	石川 夕子



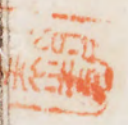
第 一 乙 區		第 一 乙 區	
消	取	更	
		消	取
昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日	昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日		
昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日	昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日		
昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日	昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日		
昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日	昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日 昭和三十二年九月廿五日		

登記簿 謄本 百五十五 登記所

第 一 丙 區		第 一 丙 區	
消	取	更	
		消	取

右登記簿ニ依リ謄寫スル者也

年 月 日



物件
番號

六
二

第

六

號

二

物



登記簿謄本

登記簿謄本

百四十九

登記所

件

消

取

順番

第

番

第

番

第

番

第

五

番

第

六

號

所有

登記

ノ

事

東京市目黒区目黒
町三丁目番地

日本銀行
川田少佐

川田少佐

川田少佐

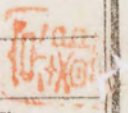
川田少佐

川田少佐

川田少佐

川田少佐

川田少佐



第 二 區

更		記	
消	取	消	取

取		消	
昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日
昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日
昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日	昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日 昭和三十八年八月廿一日

登記簿謄本 五四七七丁 登記所

順番	金額	執行	上抵	當ノ	事由	日記付入
第 一 番						年 月 日
第 二 番						年 月 日
第 三 番						年 月 日
第 四 番						年 月 日
第 五 番						年 月 日

右登記簿ニ依リ 照寫スル者也

昭和三十八年八月廿一日



首都區裁許
昭和三十八年八月廿一日

青買契約書 正式謄本

明治廿八年...

青買契約書...

買主日本銀行...

代理人渡瀨...

月...

...

青買物件

京都市上...

明治三十一年三月廿五日
東京市上京区東洞院通池上ル船屋所四百

明治三十一年三月廿五日

買賣契約書 正式謄本

買主日本銀行總裁川田小一郎、委任状ヲ所持
セル代理人渡瀬正秀及ヒ賣主谷川藤八保証
人久保田在藏并ニ保證人瀧本共一、委任状
ヲ所持セル代理人瀧本共ハ、明治三十一年捌
月玖日以前人竹上正之助役場ニ於テ進藤光有
ノ立會ヲ以テ左ノ契約ヲ締結ス

買賣物件

東京市上京区東洞院通池上ル船屋所四百

一頁者大之表半可管戶之語人後地

於吉吉未田也

一宅地陌玖拾肆叁合玖勺

地價金捌拾伍圓陸拾捌錢

右地心之在

一建物漆棟

內

吉号木造瓦葺三階建之坪漆拾肆玖人陸

勺内半屋叁拾肆肆叁人陸勺

肆号土藏瓦葺三階建之坪伍拾捌人捌勺

叁号土藏瓦葺三階建之坪漆肆伍勺



公證人 正之助

肆号土藏瓦葺三階建之坪拾肆人伍勺

伍号土藏瓦葺三階建之坪漆肆叁人肆勺

陸号木造瓦葺半屋建之坪拾肆叁人漆勺

柒号木造瓦葺半屋建之坪拾肆叁人漆勺

但天井敷鴨居床之間押入榻床廊下之儀

覽廻釘付物等造作完備根石敷石側面石井

戸井筒更木石翻外圍走窓等悉皆土藏之應

細戸扉釘前手摺段様子相廻踏石木現存之

伏

當尋夫、右物件、就、其、實、契、約、之、其、要

天正九年四月廿五日

約た、如し

第1条 賣買代金ハ金伍仟伍佰圓ニシテ既ニ其
支授ヲ了セリ

第2条 賣渡物件ハ現今日本銀行カ債借シツ、

アルヲ以テ其右有ニ係ル一切ノ物件、所有

権ヲ移付シ以テ其引渡ヲ了リタルモノトス

第3条 賣主ハ買主ノ求メ、志シ何時ニラモ登

記經由ノ手續ヲ為スヘシ

第4条 賣主ハ将来買主ノ所有権保護ヲ為メ、

要スル書類何時ニラモ其請求ニ志シ作成シ



シラ之ヲ渡スヘシ

第5条 賣主ハ買主ニ対シ當然ノ義務トシテ親

奪瑕疵等凡テ擔保ノ責ニ任スヘシ

第6条 賣渡物件ハ完全ナル所有ニシテ何ホ、

故障モナキモノトス

第7条 保證人ハ其等シテ賣主ノ義務ニ就キ買

主ニ対シ保證ノ責ヲ負フヘシ

右諸開カヤタルニ一月承認シテ署名捺印ス

東京市日本橋區北新堀町三松野

土地

京都地裁所管内公認後場

買主

日本銀行

總裁 川田小一郎

右代理人

京都市上京区新堀木町通三番上

角分町美奈吉番下住居士族通勤

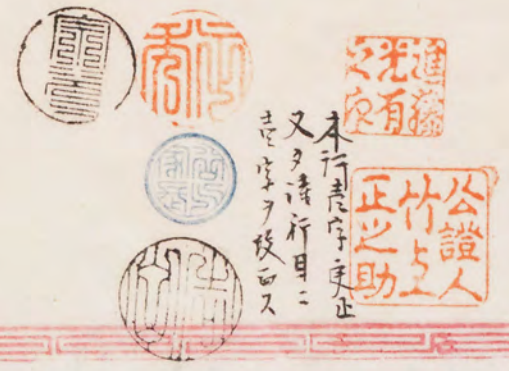
渡邊 正秀 年

嘉永四年生

日市日三味河院通中池上 船屋町

松方番下住丹平良生急高

主賣主 谷川藤八 年



本行書守更正
又多請行目二
三三三三三三



安政四年生

日市日三味河院通押小路方二条

西河院町方番下住丹平良生急高

保津人 久保田左藏 年

四拾五年

日所武松方番下住丹平良生急高

保津人 瀧本典一

四拾五年

右代理人

日番下住丹平良 瀧本典一 父

京都地裁裁所管内公證人後場

瀧本共八中

八拾年

口市口三一本通小川東入西口田
林四番下住五士旅を業

主合人 進之勝光有中

三拾三年

右結約之肯確證之ル為メ之ニ署名捺印ス

明治廿八拾年捌月玖日當役場ニ於テ

京都三味本町管内京都市上京区三室町通海

池北入御池之町並番戸住居



公證人

竹上正之助中

此正式原本ハ原本ト日時ニ關係人一月ノ面前

ニ於テ買主ハ為メニ作り原本ト相違セサルヲ

確證ス依テ對手人ト共ニ之ニ署名捺印ス

京都三味本町管内京都市上京区三室町通海

池北入御池之町並番戸住居

公證人

谷川 敏八

久保田 成彦

伊丹 岩八

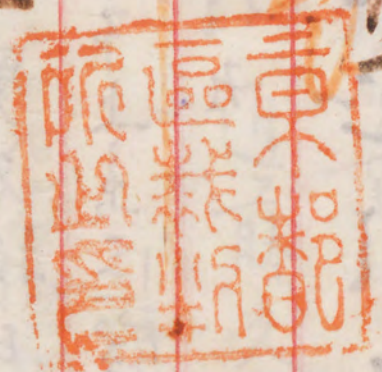
公證人 竹上正之助





蘇州府城隍廟...

上海真遠元世九四
自屋所



地所... 簿第... 號...
月... 日... 登記



公證人
正...

17



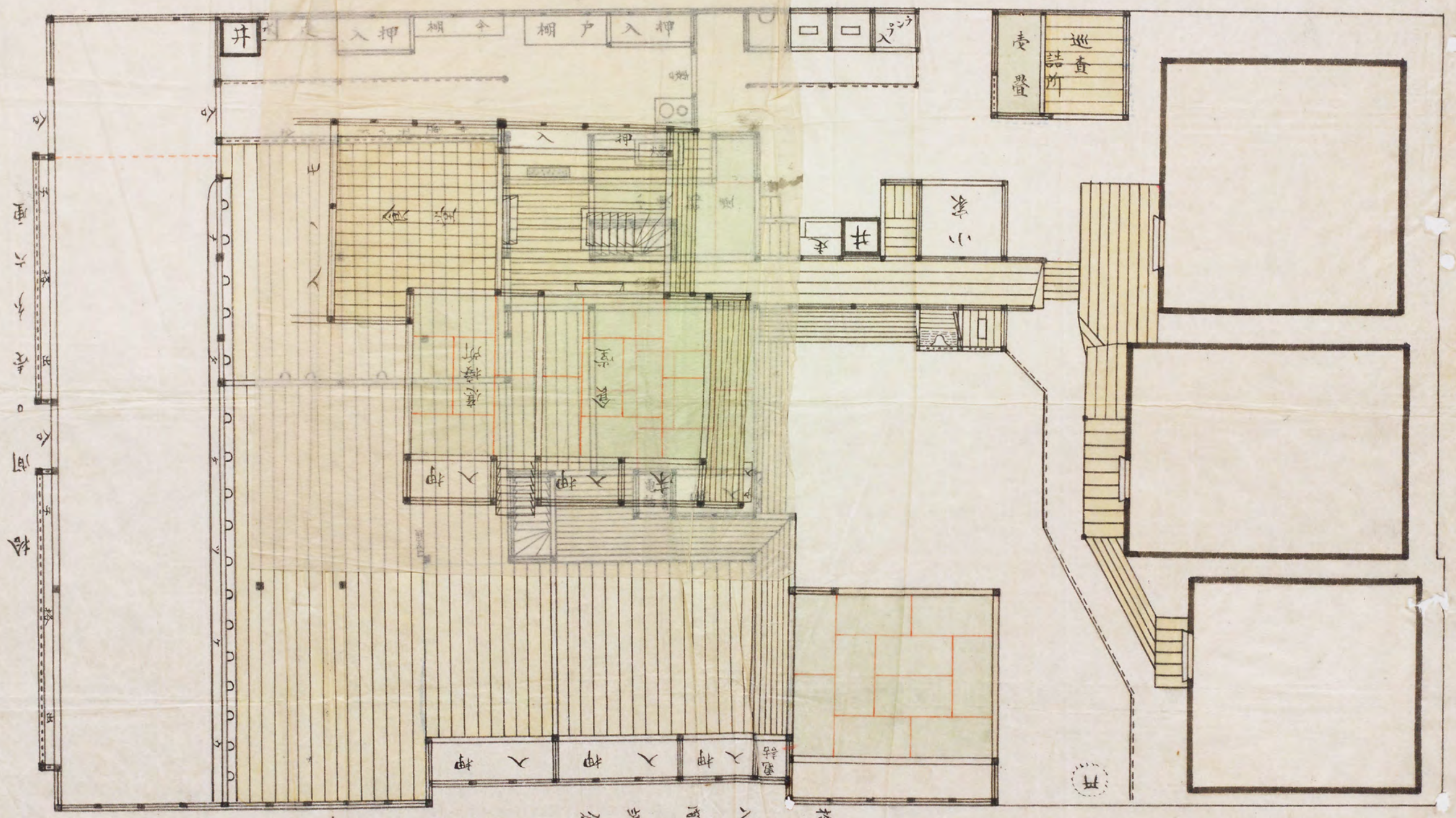
22



76

上
 京
 正
 元
 年
 正月
 廿
 八
 日
 申
 時
 刻
 申
 公
 啟

拾七間九分六厘



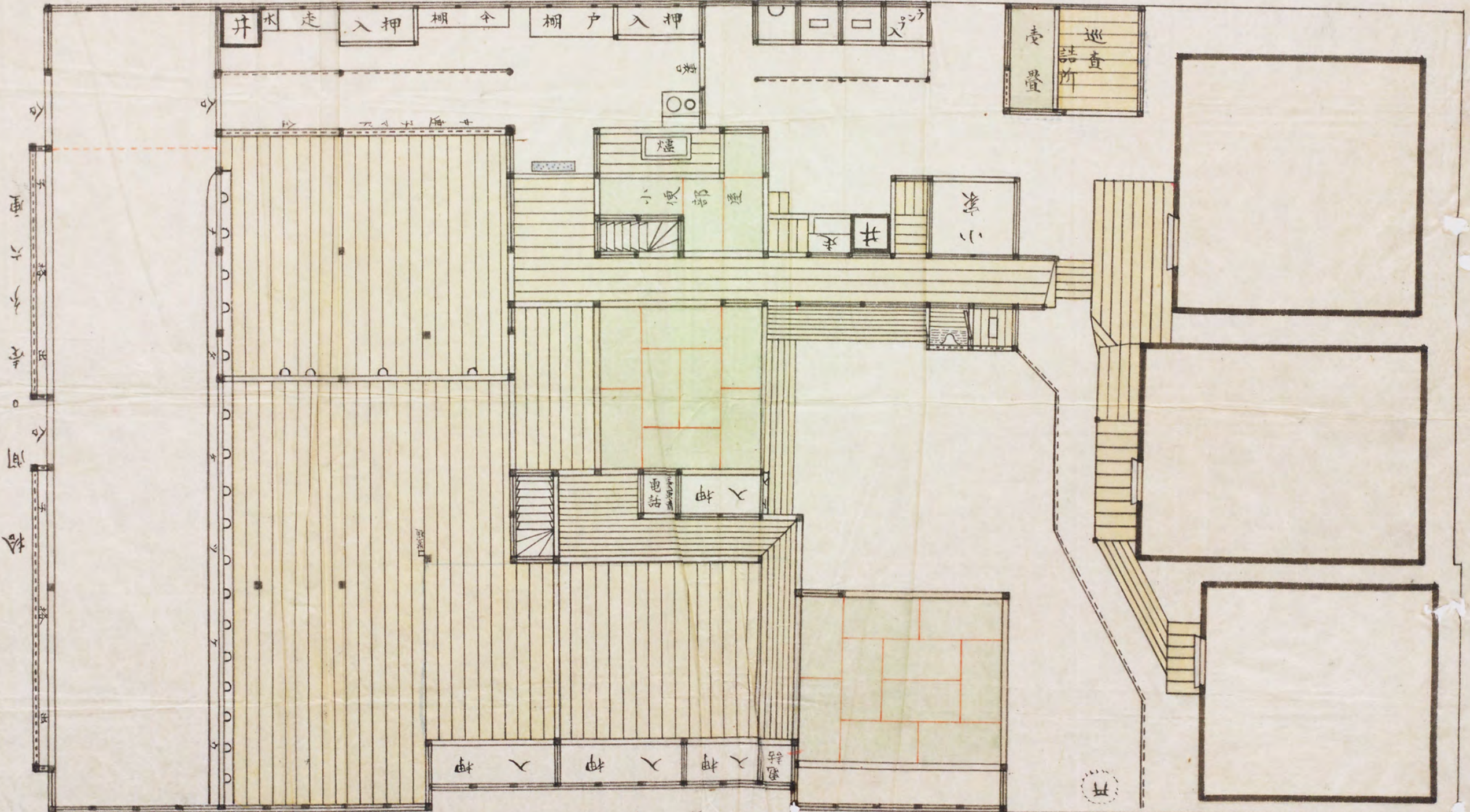
平面百分之壹圖



拾八間七分

拾六間一分

平面百分之壹圖



八間此分

檢

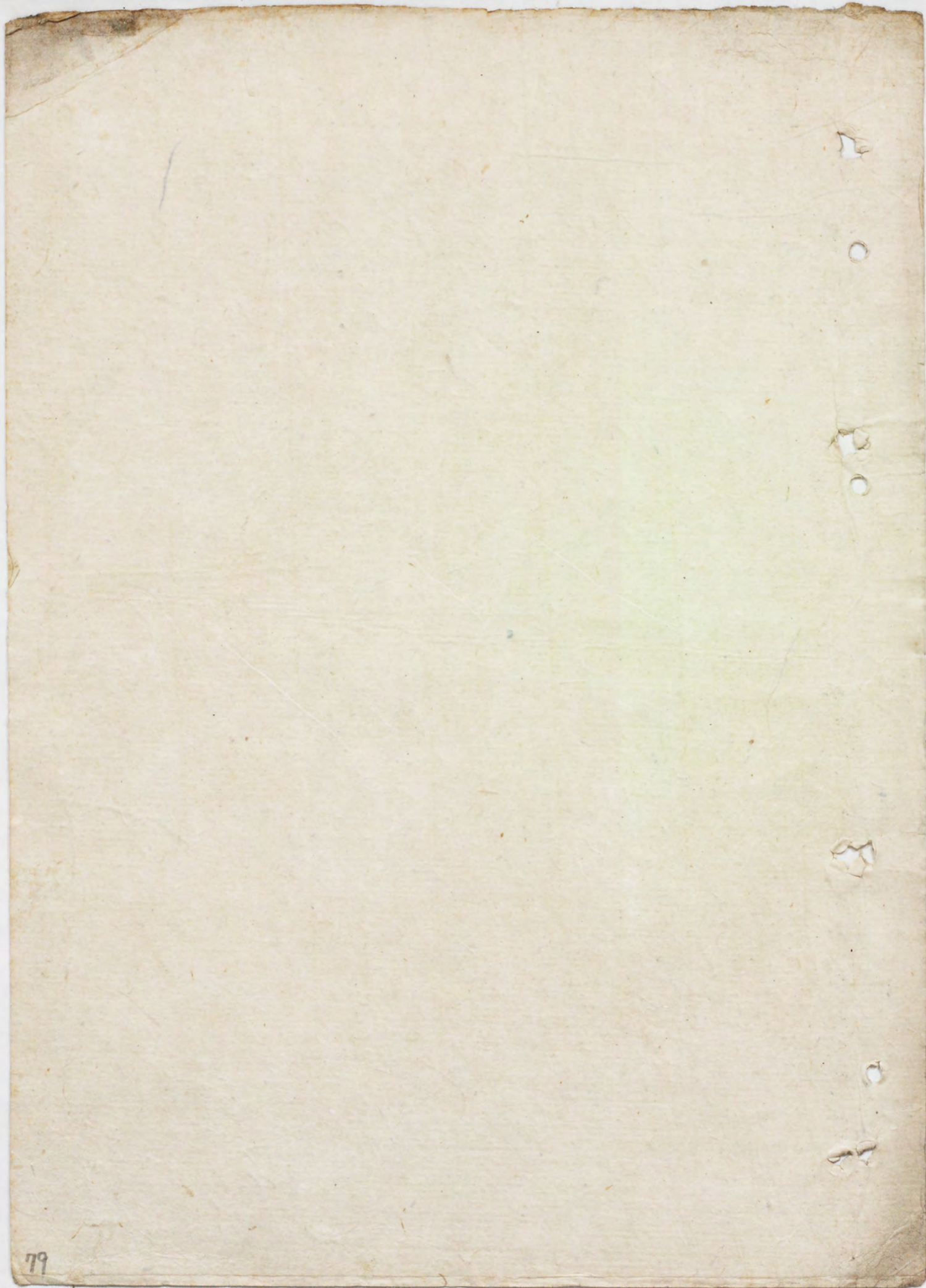
七間九分六厘

檢

六間此分

檢

11





昭和五年十二月以降

永久保存

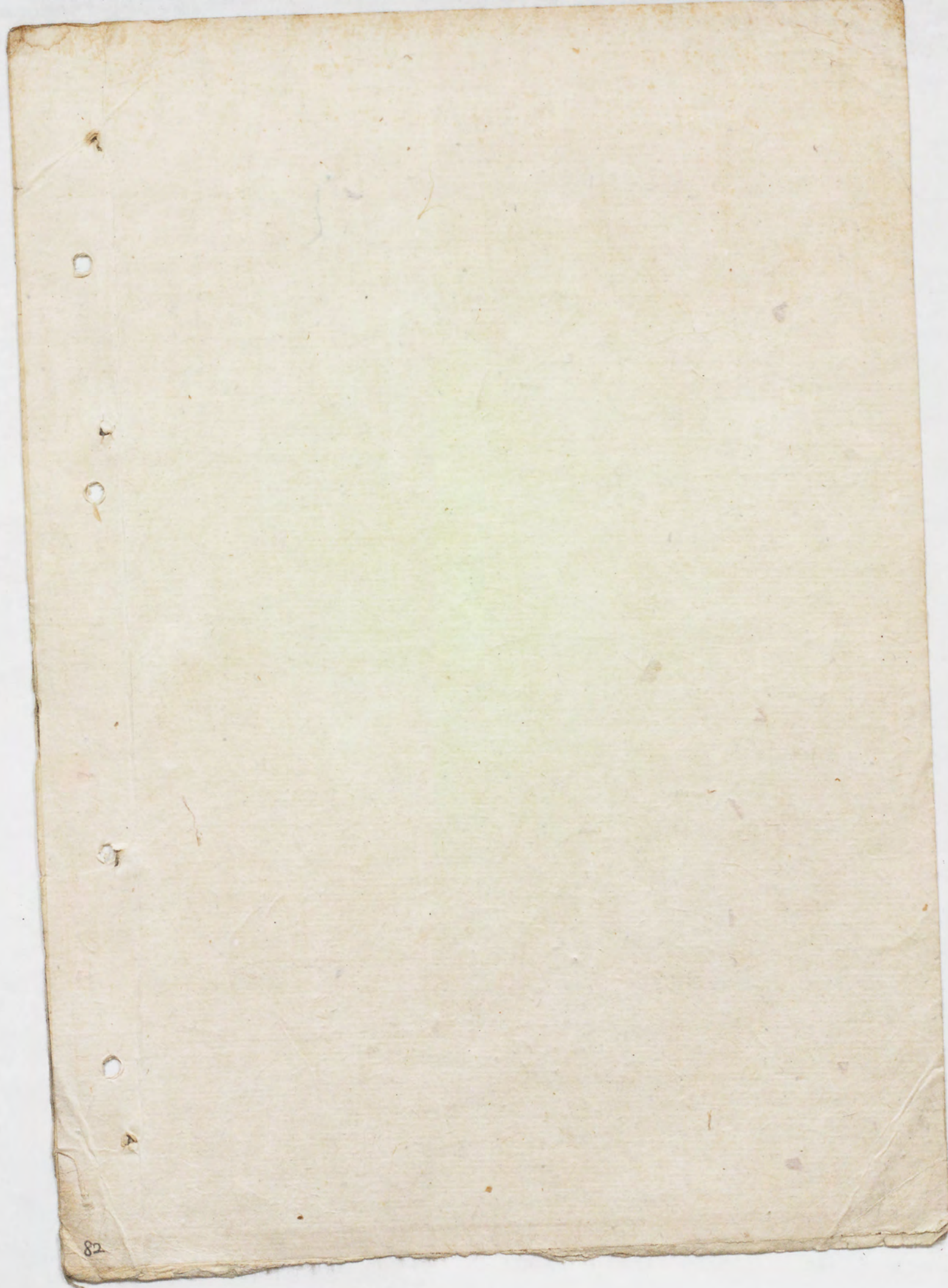
東序町

新築地實入及
墨屏院町新築地實入及
七五記
蘭文書類

表紙通合綴

京都出張所

保存年數	永久保存	使用年月	明治三十五年十一月降
保存記號	甲	保存番號	世ノ第九號



五重

印紙

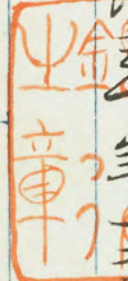
委任状

拙者儀笹岡一実ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ權限ノ事ヲ代理為致候事

一京都市上京區所小路通高倉西入目雲華院前
所七百六番地ノ壹合地ノ貳宅地百九拾九坪七
合六勺此代價金七千圓及同區高倉通三條上
ル東片町六百二十三番地宅地六百九拾九坪七勺
此代價金壹萬四千參拾圓ニテ所有者者京都金融
株式會社ヨリ買受クルニ付公正證書作成ニ関スル
一切ノ件

右代理委任状如件

明治三十四年三月廿二日



日本銀行

東京市日本橋區本町四番地

日本銀行總裁 岩崎孫一助

以下餘白

委任状

拙者儀並同一案ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ
事ヲ代理為政候事

一 京都市上京區姊小路通高倉西入墨草院
前町七百六番地ノ老舎地ノ敷空地百九拾九坪
七宮六夕此代價金七千四及同處高倉通三条上
ル東片町六百貳拾叁番地空地六百九拾九坪
老夕此代價金七千四及同處高倉通三条上
金鷲株式會社ヨリ買受ケタル地用トシテ所有者京都
二 右賣買ノ登記ヲ請求スル事

右賣買登記ニ関スル必要ノ件ハ總テ代印ヲ

以テ處分スル事

右代理委任状如件

日本銀行

明治三十年十二月廿二日

京都市日本橋區本町替町拾番地

日本銀行總裁岩崎彌三郎

以下餘白

寫

上京庵元九組曇華院前町七百六番地七百六番地之合地貳宅地
全展全 組東片町六百貳拾番番地宅地

地所登記簿謄本願

此手數料

但貳通

明治三十年十二月廿八日

京都市上京庵東洞院通御池元
船屋町十六番戶日本銀行京都出張所負

笹岡一實

写

上卷之非九胆東片册六百餘卷考地ノ考定地

地原登記簿謄本頼

此手抄科

但考通

明治三十二年三月一日

京都市上卷区東岡院通馬地カ

般屋町十六番地

日本銀行至都出法務局

笹岡一實

保

日本銀行大坂支店

明治廿一年一月十日

崇

受領書
付文第四號

三ノ部

貴所新築敷地之一部與代價讓受ニ付其登記
ニ関スル總裁委任狀不備ニ廉訂正方旧臘申
越有ニ候如今般文書局長ヨリ別紙委任狀ニ通
回送有ニ候ニ付及御送致候也

大坂支店長

片岡直輝

片岡直輝印

京都出張所長山本安三郎殿

証紙印五厘

委任状

拙者儀等同一定ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代理為致ス事

一 京都金融株式會社ヨリ當行へ買受タル宅地ヲ京都厩裁
判所ニ登記請求事件ニ付拙者ヨリ差出シタル委任状中墨華
院前町七百六番地ノ下「七百六番地」ノ五字及京都金融株式
會社ヨリノ下「當行京都出張所新築敷地用トシテ」ノ十五字脱
漏ニ付右ニ關スル必要件ハ總テ代印ヲ以テ處弁スル事

右代理委任状事件

明治三十一年三月廿二日

之章

東京市日本橋區本町替町拾番地

日本銀行總裁 岩崎彌之助

日本銀行

証券
印紙
五厘

委任状
拙者儀 貴岡 一 定之ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代理
為致矣事

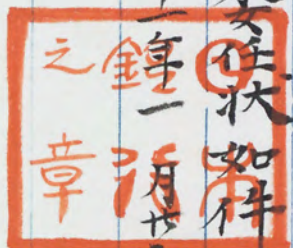
一 京都市上京区高倉通三條上ル東片町六百貳拾三番地壹宅地
五合貳勺無代價ヲ京都金融株式會社ヨリ當行京都出張所新
築敷地用トシテ讓受タル付公正證書作成ニ關スル一切ノ件

右代理委任状如件

明治二十一年五月五日

京都市日本橋區本西替町拾番地

日本銀行總裁 岩崎彌之助



証券
印紙
五厘

委任状

拙者儀並同一定ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代理
為致美事

一京都市上京尾高倉通三條上東片町六百貳拾三番地壹壹宅地
五合貳勺無代價ニテ京都金融株式會社ヨリ當行京都出張所
新築敷地用トシテ讓受ル付京都府裁判所ニ右讓受ノ登記ヲ
請求ス事

右讓受ニ關スル必要ノ件ハ總テ代印ヲ以テ處弁スル事

右代理委任状案件

明治三十一年 三月廿五日

之章

東京市日本橋尾本西替町拾番地

日本銀行總裁 岩崎彌之助

日本銀行

上申書

今回京都金融株式會社ヨリ日本銀行、買受タル京都
 市上京尾崎小路通高倉西入曇華院前町七百六番地
 七百六番地ノ卷合地ノ敷全市全尾高倉通三條上ノ東
 片町六百貳拾三番地ノ宅地登記請求事件ニ付明治
 三拾年十二月廿貳日付東京市日本橋尾本兩替町指番地
 日本銀行總裁岩崎弥三助ヨリ差出シタル別紙委任
 狀中曇華院前町七百六番地ノ下「七百六番地」ノ五字及
 日本銀行京都出張所新築敷地ナル條件既漏致居
 候ニ就テ右ニ對スル補遺ノ委任狀ニ速ニ提出ノ手續可
 取計此段上申仕候也

明治三十年十二月廿五日

日本銀行

總裁岩崎彌三助

代人 笹岡一實

京都尾裁判断所

御中

受明九年五月五日
付文第一方號

研長

案

文書局長

東片町地所登記及公證、委任狀雜
形及星華院前地所登記委任狀
、追加雜形至急送付已

明治 年 月 日

五
子
印

委任状

又テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代

拙者儀
理為致矣事

一 京都金融株式會社ヨリ當行ニ買受タル宅地ヲ京都展裁判
所ニ登記請求事件ニ付拙者ヨリ差出タル委任状中墨華
院前町七百六番地ノ下「七百六番地」ノ五字及京都金融株式
會社ヨリノ下「當行京都出張所新築敷地用トシテ」ノ十五字脱
漏ニ付右ニ關スル必要ノ件ハ總テ代印ヲ以テ處弁スル事

右代理委任状如件

明治三十年十二月九日

東京市日本橋尾本両替町拾番地

日本銀行總裁 岩崎彌之助

明治 年 月 日

証券
五圓
印紙

委 任 狀

ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ權限ノ事ヲ代

拙者儀
理為致事

一京都市上京區高倉通三條北東片町六百貳拾三番地ノ宅宅
地五合貳勺無代價ニテ京都金融株式會社ヨリ當行京都出
張所新築敷地用トシテ讓受タルニ付公正證書作成ニ關スル一
切ノ件

右代理委任狀如件

明治 年 月 日



東京市日本橋區本町替町拾番地
日本銀行總裁 岩崎彌之助

証 印 五
券 紙 厚

明治 年 月 日

拙者儀
為致矣事

委 任 状

ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代理

一 京都市上京区高倉通三条北東片町六百貳拾三番地ノ宅宅
地五合貳勺無代價ニテ京都金融株式會社ヨリ當行京都
出張所新築敷地用トシテ讓受タルニ付京都區裁判所ニ
右讓受ノ登記ヲ請求スル事

右讓受ニ関スル必要ノ件ハ總テ代印ヲ以テ處弁スル事
右代理委任状如件

明治 年 月 日

東京市日本橋區本町四丁目拾番地

日本銀行總裁 岩崎彌之助

五厘
印紙

委任状

拙者儀、箕岡一實ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代理為致候事

一 京都市上京区姉小路通高倉西入墨華院前町七百六番地ノ志合地ノ貳宅地百九拾九坪七合六夕此代價金七千四及同区高倉通三条上京片町六百貳拾叁番地宅地六百九拾九坪志夕此代價金志萬四千叁拾四ニテ所有者京都金融株式會社ヲ買受ケタルニ付京都區裁判所ニ右賣買ノ登記ヲ請求スル事

右賣買登記ニ関スル必要ノ件ハ總テ代印ヲ以テ處テスル事

右代理委任状如件

日本銀行

明治三十年十一月六日

京都市日本橋區本町二丁目拾番地

日本銀行總裁岩崎彌之助

以下餘白

明治 年 月 日

第五號
代理

委任狀

此者儀
為致美事
ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ權限ニ奉テ代理

一 京都市上京區高倉通三條上ノ東片所六百貳拾三番地ニ在リ
地五合貳勺無代價ニテ京都金融株式會社ヲ當行京都
出張所新築敷地用トシテ讓受タル旨公正證書作成ニ關ス
ル一切ノ件

右代理委任狀如件

明治 年 月 日

東京市日本橋區本町替町拾番地

日本銀行總裁

岩崎彌之助

印

印

明治 年 月 日

委 任 状

拙者儀

ノ事ヲ代理為致候事

ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限

一 京都金融株式會社ヲ當行ノ買受タル宅地ヲ京都屋敷
 判所ニ登記請求事件 旨拙者ヲ差出タル委任状中量
 華院前所七百六番地ノ下「七百六番地」ノ五字及京都金融株式
 會社ヲ「下」當行京都出張所新築敷地用トシテ「十五字脱
 漏」旨右ニ關スル必要ノ件ニ總テ代印ヲ以テ處弁スル
 右代理委任状如件

明治三十年十月廿一日

東京市日本橋區本町三丁目

日本銀行總裁

岩崎彌太郎

日本銀行

明治 年 月 日

委任状

拙者儀
為致事
ヲ以テ部理代人ト相定メ左ノ権限ノ事ヲ代理

一京都市上京區高倉通三條光東所六百貳拾三番地ノ宅
地五合貳勺無代價ニテ京都金融株式會社ヨリ當行京都
出張所新築敷地用トシテ讓受タルニ自京都ニ此裁判所ニ右
讓渡讓受ノ登記ヲ請求スル事

右讓渡讓受ニ關スル必要ノ件ハ總ニ代印及テ處年ニ事
右代理委任状如件

明治 年 月 日

京都市日本橋區本町替町拾番地

日本銀行總裁 岩崎彌之助